

委員会活動

各委員会庶務担当については下線を付しています

◆ 医療安全関係

1. 医療安全管理対策委員会

構 成 人 員	委 員 長		片岡慶正(院長)
	副委員長		青木悦雄(副院長), 若林直樹(診療局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	光吉明(院長補佐), 天野泰彰(産婦人科診療部長), 松本忠士(歯科口腔外科診療部長), 2 年目研修医(臨床研修センター)
		医 療 技 術 局	中山英夫(医療技術局長(薬剤長)), 松井まり子(臨床検査部技師長), 安達幸秀(放射線部技師長), 木村啓志(臨床工学部副参事)
		看 護 局	渡邊良子(看護局次長), 内田美智代(7A 師長), 高木文子(7B 師長), 嶋林幸子(5A 師長)
事務局他		秋田高典(事務局長), 水野伸也(施設契約課長), 大山由紀子(患者相談支援室長), 宮本直樹(医療の質・安全管理室)	
庶務担当			日向美和子(医療の質・安全管理室参事), 柴原育子・竹原洋二(医療の質・安全管理室)
会 議			1 回／月 開催
活動内容			2018 年 4 月 11 日(水)、5 月 9 日(水)、6 月 13 日(水)、7 月 11 日(水)、8 月 8 日(水)、 9 月 12 日(水)、10 月 10 日(水)、11 月 14 日(水)、12 月 12 日(水)、 2019 年 1 月 9 日(水)、2 月 13 日(水)、3 月 13 日(水) 開催 【定例報告】 ・インシデント、アクシデントレポート件数報告 ・一部事象内容報告、検討 ・患者相談・苦情件数報告 【その他 報告・協議内容】 ・2017 年度インシデント・アクシデント件数報告 ・2017 年度臨床検査部検体関連インシデント件数報告 ・医療安全管理のための体制について ・医療安全管理指針、医療安全業務マニュアル等の改正について ・医療安全管理指針の設置状況および管理方法の変更について ・医薬品の使用のための業務手順書の改訂について ・医療安全対策マニュアルの策定について ・医療安全対策地域連携加算体制及び相互ラウンド結果報告 ・2018 年度医療安全研修会の計画、運用形式の検討および結果報告 ・「医療安全川柳」「感染防止川柳」の募集について ・患者フルネーム確認の院内周知について ・腹部手術前の腹部レントゲン撮影について ・二重カルテ登録の対応について ・エアシューター搬送の取り決め事項について ・配膳時の患者確認調査結果報告 ・部署別時計合わせの調査結果報告 ・リスクマネジメント部会、RRS 部会の活動結果報告

2. 感染対策委員会

構 成 人 員	委 員 長		片岡慶正(院長)
	副委員長		大江秀典(感染症科診療部長), 松下弘美(感染管理室)
	メ ン バ ー	診 療 局	高谷季穂(総合内科診療部長), 平沼修(呼吸器内科診療部長), 中尾光成(臨床検査部診療部長), 辻桂嗣(小児科), 大手裕之(救急診療科), 2 年目研修医(臨床研修センター)
		医 療 局 技 術 局	中山英夫(医療技術局長(薬剤長)), 三井李紗(薬剤部), 松井まり子(臨床検査部技師長), 中野博之(臨床検査部副参事), 西田なほみ(栄養部技師長)
		看 護 局	堀池公子(看護局長), 西村由香(看護局参事), 山澤弘子(6B 師長), 力石美穂子(材料滅菌部師長), 横谷恵(集中治療部副師長)
事務局他		秋田高典(事務局長), 鈴木幸子(医事課長補佐)	
庶務担当			石田道一(感染管理室)
会 議			1 回／月 開催
活動内容			定例会議: 毎月第 4 月曜日 2018 年4月 23 日(月)、5 月 28 日(月)、6 月 25 日(月)、7 月 23 日(月)、8 月 27 日(月)、9 月 21 日(金)、10 月 22 日(月)、11 月 26 日(月)、12 月 17 日(月)、2019 年 1 月 28 日(月)、2 月 25 日(月)、3 月 25 日(月) 【定例報告】 ・疫学情報(MASA 分離件数、所属別・材料別分離菌、血液培養分離菌、耐性菌等に関する報告) ・ICT・AST 報告(ラウンド結果、抗菌薬使用量、サーベイランス結果) ・事例報告 ・「感染防止対策加算」、「感染防止対策地域連携加算」における取り組み及びラウンド結果 ・感染対策研修会について(教育計画、結果報告) ・看護局感染防止検討委員会からの報告 ・厚生労働省通知(報告) 【協議内容及び報告事項】 ・針刺し・粘膜曝露について ・感染対策製品の変更について(擦式手指消毒剤) ・結核: 接触者健診について ・感染症病棟訓練について ・職員のワクチン接種について ・感染防止川柳の募集について ・経管栄養用ボトル等の単回使用について ・インフルエンザ流行期の対応について ・外部監査の結果について(厚生局、保健所)

3. 褥瘡対策委員会

構 成 人 員	委 員 長		末廣晃宏(皮膚科診療部長)
	副委員長		大津陽子(医療の質・安全管理室参事)
	メ ン バ ー	診 療 局	山田真人(脳神経内科), 峠岡祐典(内科)
		医 療 技 術 局	富田真央(薬剤部), 森本育美(栄養部), 川端拓朗(リハビリテーション部)
看 護 局		初田聡美(看護局次長), 力石美穂子(手術部師長), 中里玉美(3B 副師長), 大坪有紀子(8B), 山崎千恵子(7A)	
庶務担当			竹原洋二(医療の質・安全管理室)
会 議			3 回／年 開催
活動内容			第1回開催日:2018 年 6 月4日 2017 年活動報告 褥瘡発生状況等 2018 年活動方針について MDRPU マニュアルについて 褥瘡対策研修会について その他
			第2回開催日 2018 年 10 月 24 日(水)より11 月 7 日(水) 院内メール 2018 年度褥瘡発生状況 中間報告 その他
			第3回開催日:2019 年 3 月 11 日 2018 年度活動報告(2 月末まで分) MDRPU マニュアルについて 次年度褥瘡対策研修会 エアマットレスについて その他

4. 医療機器安全管理委員会

構 成 人 員	委 員 長		中山英夫(医療技術局長(薬剤長))
	副委員長		安達幸秀(放射線部技師長), 松井まり子(臨床検査部技師長)
	メ ン バ ー	診療局	中尾光成(臨床検査部診療部長)
		医 療 技術局	木村啓志(臨床工学部副参事)
看護局		横谷恵(集中治療部副師長)	
会 議			随時開催
活動内容			日時:2018 年 5 月 8 日(火) 18 時 15 分から 場所:薬剤部 出席者:中山英夫、松井まり子、安達幸秀、木村啓志
			議題 1、昨年度の医療機器点検結果報告 2、本年度の医療機器点検計画について 3、その他 会議概要 1、診療放射線部、臨床検査部、臨床工学部からそれぞれ昨年度の機器の点検結果報告がなされた。 2、同様に各所属から本年度の点検計画が報告された。 3、新規導入機器の研修会実施報告がされた。

5. 透析機器安全管理委員会

構成 人員	委員長		中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長)
	副委員長		木村啓志(臨床工学部副参事)
	メン バー	診療局	吉田尚平(内科)
		医療 技術局	奥村博一(臨床工学部)
		看護局	立山満久(血液浄化部師長)
		事務局他	西津剛志(施設契約課)
会議			2回/年 開催
活動内容			・透析液生菌検査及びエンドトキシン検査結果について確認 ・透析機器年次点検計画について確認

6. 防火災害対策委員会

構成 人員	委員長		福井道彦(診療局次長)
	副委員長		川島もと子(5B 師長)
	メン バー	診療局	中島潤(消化器内科), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科)
		医療 技術局	松尾洋史(リハビリテーション部副技師長), 今井修一(放射線部), 神原諒(薬剤部)
		看護局	各所属長
		事務局他	上野隆平(事務局次長), 秦憲治(事務局次長), 鈴木幸子(医事課長補佐), 大石達也(施設契約課長補佐)
庶務担当			西津剛志・原氏恒(施設契約課)
会議			随時開催
活動内容			開催日 2018 年 11 月 29 日(第1回) 協議事項 ・昨年度の防火・防災訓練について ・今年度の防火・防災訓練について 11 月 15 日(木)外来病棟で防災訓練を実施 11 月 16 日(金)9A 病棟で夜間想定火災訓練を実施 ・来年度以降の防火・防災訓練について 2019 年度 3B 病棟 8B 病棟 2020 年度 ICU 8A 病棟

7. 放射線安全管理委員会

構成 人員	委員長		青木悦雄(副院長)
	副委員長		秋田高典(事務局長)
	メン バー	診療局	城正泰(消化器内科)
		医療 技術局	安達幸秀(放射線部技師長), 田淵志帆・山内聡・谷澤利栄(放射線部), 早川太朗(薬剤部副参事)
		看護局	堤夏美(外来部副師長)
		事務局他	杉山功治(医事課)
庶務担当			原氏恒(施設契約課)
会議			随時開催
活動内容			開催日 2019 年 3 月 12 日(第1回) 協議事項 1.放射線設備の管理状況等について (1)放射線装置保守点検状況報告 (2)放射線安全管理規程の見直し 2.その他 (1)「医療放射線に係る安全管理」について (2)医療安全管理指針記載の分掌業務について

8. 医療ガス安全管理委員会

構 成 人 員	委 員 長		橋口光子(麻酔科診療部長)
	副委員長		吉村規子(臨床工学部)
	メ ン バ ー	診 療 局	森由美子(麻酔科)
		医 療 技 術 局	辻淳子(薬剤部)
		看 護 局	竹内須美子(3B 副師長)
		事務局他	神山優哉(経営管理課), 山本尚基(オリックス・ファシリティーズ(株): 高圧ガス取扱主任者)
庶務担当			西津剛志(施設契約課)
会 議			1 回/年 開催
活動内容			開催日 2019 年 3 月 15 日(第 1 回)サイボウズ上でのメール開催 協議事項 2017 年度医療ガス設備の管理状況等について ① 医療ガス設備保守点検 ② CE 設備(液化酸素)定期自主検査 ③ 液化酸素使用量及び受入量 ④ EOG 作業環境測定 直近の医療ガス設備保守点検時受託業者所見について

◆ 診療・医事関係

9. 医療標準化委員会

構成 人員	委員長		高見史朗(医療情報センター長)
	副委員長		三島誠悟(院長特別補佐)
	メンバー	診療局	青木悦雄(副院長), 戸田省吾(副院長), 若林直樹(診療局長), 中嶋敏宏(院長補佐), 木股正樹(循環器内科診療部長), 廣田伸之(脳神経内科診療部長)
		医療技術局	森恵美子(臨床検査部), 辻淳子(薬剤部), 中村昌文(放射線部)
		看護局	高橋智枝子(8A 師長), 山田久美(8B 師長)
		事務局他	徳永眞一(総務課長), 上林五月(地域医療連携室長), 川勝政範(医事課)
庶務担当		松林裕和・寺田貴子(診療情報管理室)	
会議		随時開催	
活動内容			○ 第1回 開催日:2018 年 6 月 25 日(月) 協議事項: 1. 医療標準化委員会要領について(作成経緯と要領案) 2. 平成 29(2017)年度診療記録監査総括報告 3. 平成 30(2018)年度診療記録監査実施日程について 4. 文書申請(説明・同意書等)及び承認状況について 5. その他 決議事項: 1の項: 委員会全体の共通の委員会要綱はあるが、個別の要綱が無く医療標準化委員会としてなすべき役割を明確化すべく作成。、原案を委員会で提示、問題なく承認が得られたので、決裁をとり平成 30 年 4 月 1 日施行することとした。 2の項: 平成 29 年度の診療記録監査結果について総括した報告を行った。中でもインフォームド・コンセントについては、説明を行っているにもかかわらず電子カルテ内への記載がなされていないケースが多く、改善を求めた事を報告した。 7 月 9 日にインフォームド・コンセントに関わる院内職員を対象とした研修会が開かれ、また医療標準化委員会としてもひきつづき啓蒙することとし

た。その他意見として、手術記録の記載場所がプログレスノートに記載されていたりするため記載場所の統一化を望む意見が出された。この件については手術に関わる診療科がどこに記載されているのかを調査し、次回委員会で検討することとした。

また、診療記録監査票について、ある部分紙カルテで運用していた時代の監査表現が使用されており電子カルテににあう監査票への改訂が提案された。通年評価のいい項目は省きつつ評価方法を含めた改訂を進める方向で検討することとした。

3の項:

原案通り平成 30 年度診療記録監査を 7 月、9 月、11 月、2 月の年4回実施することとするに異議なく承認された。

4の項:

本院で使用されている説明同意書について、どのようなものがいつ作成され、どのような形式内容のものをかを委員が電子カルテ用パソコン上で参照できるファイルを作成した旨を連絡した。

本院では医療標準化委員会が管理する 2016 年 8 月までの実績で 273 件、それ以降医療標準化委員会が申請方式をとり検閲する形式をとってから 192 件の申請があり全 465 件にのぼっていることも併せて報告した。

5の項:

インフォームド・コンセントについては、説明同意書があれば電子カルテ内に記載しなくてもいいのではないかと、との意見が出された。

インフォームド・コンセントで重要であるのは、患者からの質問、それについてどう答え、納得した上で医療行為をうけたのかであり、その状況の記載が重要であることを説明した。

その他入院診療計画書のチェック方法など質問が出された。

○ 第2回

開催日:2018 年 10 月 15 日(月)

協議内容:1. 診療記録監査票の一部改訂について(次年度に向けて)
2. 電子カルテの記載箇所統一・標準化に向けてのアプローチ
3. 文書審査に関する規程の一部文書追加について
4. その他

決議事項:

1の項:

診療記録評価票医師記録とインフォームド・コンセントの監査項目についての表現方法の一部変更を行う。

2の項:

電子カルテの記載場所の統一を目的に、まず手術記録の記載場所、記載項目の標準化を行うこととした。

手術レポートは、テンプレートが用意されており記載が必要な項目がぬけることもなく、記載しやすい状況となる。

3の項:

侵襲性の検査等の説明同意書の新規作成において、直接関わりのない者が申請者として提出されるため、その医療行為について説明ができ、かつ関わり不測の事態に対処できるものが申請する方向で追記を行うこととした。

○ 第3回 (院内ネット会議)

開催日:2019 年 2 月 25 日～2019 年 3 月 1 日(金)

協議内容:1. 手術室における入院手術記録(手術レポート)記載等に関する要領(案)について

決議事項:

1の項:

院内ネット上での「手術室における入院手術記録(手術レポート)記載等に関する要領(案)について」の審議を行った。

委員 18 名全員の閲覧を確認(別紙)により「地方独立行政法人市立大津市民病院委員会要綱第5条の4」の要綱に照らし会議は成立した。

審議の結果、承認 12 名、意思表示なし 4 名(うち確認事項記載 1 名)で事務局 2 名を除き過半数の承認が得られたので、決裁後施行することとした。

質問としては、循環器科や消化器内科のように手術室で行っていない手術の取り扱いについてはどうかというものであったが、今回の要領は手

	術室における・・・ものであり、対象外と返答し理解を得た。 ○ 第4回 開 催 日:2019 年 3 月 25 日(月) 協議事項:1. 診療記録としてのスキャナによる電子カルテ内に 取込むべき文書について 決議事項: 1の項: 当院でスキャナを行っている文書リストを作成し、関係部署に聞き取り調査を行った結果を踏まえ、本会議に参加した委員に再度確認を行った。この件につき、さらに所属長に確認するなど確実性を担保した上で、要領を作成することとした。作成めどは本年度6月と定めた。 (診療記録監査実施状況) ○ 第1回:2018 年 7 月 2 日(月)～2018 年 7 月 13 日(金) ・監査対象診療科:内科・総合内科・脳神経外科・皮膚科・歯科口腔外科 ・監査対象医師数:22 名 監査カルテ数:44 部 ○ 第2回:2018 年 9 月 3 日(月)～2018 年 9 月 14 日(金) ・監査対象診療科:消化器内科・整形外科・呼吸器外科・緩和心療内科 ・監査対象医師数:22 名 監査カルテ数:44 部 ○ 第3回:2018 年 11 月 5 日(月)～2018 年 11 月 16 日(金) ・監査対象診療科:外科・小児科・眼科・脳神経内科・耳鼻咽喉科 ・監査対象医師数:20 名 監査カルテ数:40 部 ○ 第4回:2019 年 2 月 18 日(月)～2019 年 3 月 1 日(金) ・監査対象診療科:産婦人科・循環器内科・泌尿器科・呼吸器内科 心臓血管外科 ・監査対象医師数:19 名 監査カルテ数:38 部 ※ 監査対象医師1名につき、2 部のカルテにより監査し評価する。 監査委員:高見史朗(消化器内科肝臓部門診療部長・医療情報センター長) 青木悦雄(副院長)・戸田省吾(副院長)・若林直樹(診療局長)・中嶋敏広(院長補佐)・木股正樹(循環器内科部長)・廣田伸之(脳神経内科部長)・上林五月(看護師・地域医療連携室長)・高橋智枝子(8A 師長)・山田久美(8B 師長)
--	---

10. クリニカルパス委員会

構 成 人 員	委 員 長		若林直樹(診療局長)
	副委員長		山中理(薬剤部)
	メ ン バ ー	診 療 局	木原明生(小児科), 峠岡佑典(内科), 寄木浩行(消化器内科), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科), 牧野敏樹(泌尿器科), 平山貴裕(産婦人科)
		医 療 技 術 局	松井里美(臨床検査部副技師長)
		看 護 局	山極久美子(5A 副師長), 山崎富美子(5B 副師長), 原田緑(6B 副師長), 寺田麻子(7A 副師長), 奥村紀子(7B 副師長), 山中利加(8B 副師長)
		事務局他	横山輝弘(経営戦略室), 辻泰明・笹森彩乃(医事課)
会 議		随時開催	
活動内容			・第1回(メール会議)…2018 年 6 月 1 日～7 月 10 日 【内容】新規パスの審査・承認 ・第2回会議…2018 年 8 月 16 日 【内容】新食種への変更に伴うクリニカルパスの変更作業について 現在のクリニカルパスの運用状況について ・第3回(メール会議)…2019 年 2 月 20 日～3 月 30 日 【内容】新規パスの審査・承認

11. 臨床検査精度管理運営委員会(旧 臨床検査精度管理委員会)

構 成 人 員	委 員 長		中尾光成(臨床検査部診療部長)
	副委員長		益澤尚子(病理診断科診療部長), 三島誠悟(院長特別補佐)
	メ ン バ ー	診 療 局	木股正樹(循環器内科診療部長), 城正泰(消化器内科), 田中理美(呼吸器内科)
		医 療 技 術 局	松井まり子(臨床検査部技師長), 松井里美(臨床検査部副技師長), 瀧井さち子(臨床検査部副参事), 辻淳子(薬剤部)
		看 護 局	中川かつ代(手術部副師長)
		事務局他	西村佳祐(経営管理課)
会 議		1～2 回／年 開催	
活動内容			第 1 回 2018.6.21 臨床検査部カンファレンスルーム 1.メンバーについて 2.昨年度参加の外部精度管理結果について 3.今年度参加予定の外部精度管理について 4.施設基準について 5.収支 6.院内実施基準(H26 年におけるの決定事項の再掲) 7.臨床検査部の昨年度の取り組み(～2018 年 3 月まで) 8.今後の取り組み 9.他 第 2 回 2019.2.5～2019.2.22 メール会議 1.今年度参加の外部精度管理結果について 2.臨床検査部の今年度取り組み状況についての進捗状況 3.機器更新について 4.来年度(2019 年度)計画 5.さらなる人員要求について 6.その他

12. RST 委員会

構 成 人 員	委 員 長		柳田正志(呼吸器外科)
	副委員長		千葉玲哉(救急診療科)
	メ ン バ ー	診療局	川合喬之(救急診療科)
		医 療 技術局	山本伸子(歯科口腔外科副参事), 吉村規子(臨床工学部), 横谷俊彦(リハビリテーション部)
		看護局	横田耕治・若尾泰弘(集中治療部), 原田彩花(7B), 貞廣純子(3B)
会 議			2～3 回／年 開催
活動内容			2018 年度 第 1 回 呼吸療法サポートチーム(RST)委員会 2018 年 5 月 30 日開催 1、RST 委員会メンバー紹介 2、RST 要綱、ケアマニュアルについて 3、人工呼吸器マスターコースについて 4、RST 勉強会予定 5、人工呼吸器装着患者の移送についての取り決めについて 2018 年度 第 2 回 呼吸療法サポートチーム(RST)委員会 2019 年 3 月 12 日開催 1、RST 委員会 委員長交代について 2、2018 年度 RST 活動の報告 3、人工呼吸器マスターコースについて 4、RST 要綱、ケアマニュアルについて 5、来年度の RST 研修会について

13. NST 委員会

構 成 人 員	委 員 長		石井通予(栄養部診療部長)
	副委員長		峠岡佑典(内科)
	メ ン バ ー	診 療 局	寄木浩行(消化器内科), 藤田覇留久(外科・消化器外科・乳腺外科)
		医 療 技 術 局	西田なほみ(栄養部技師長), 山本伸子(歯科口腔外科副参事), 鄭智佳(薬剤部), 本里ゆかり(リハビリテーション部), 谷口昇(臨床検査部)
		看 護 局	立山満久(血液浄化部師長), 佐藤伸一郎(7B), 松見裕子(6A 副師長), 勝村美穂子(8A), 中村美地子(5A)
事務局他		杉山功治(医事課)	
庶務担当			木原晴美(栄養部)
会 議			随時開催
活動内容			<会議> 第1回 2018年5月8日(火)17:00 ~ 18:05 1 本年度委員会メンバー及びリンクナースメンバー紹介 2 前年度活動報告 3 本年度の運営について 4 NST 専任要件のための研修について 臨時 2018年8月9日(木)15:40~16:10 1 NST勉強会・準備およびアンケート結果の集計分担 2 NST活動全般について 第2回 2019年1月31日(木)16:15 ~ 17:10 1 臨時購入申請品について 2 NST 専任要件の研修について 3 中間活動報告 4 中間 NST 勉強会報告 第3回 2019年3月18日(月)16:15 ~17:00 1 本年度活動報告 2 次年度の体制と運営について 3 NST 専任要件のための研修について <NST 勉強会> 案内チラシ作成、発行 アンケート作成、集計、報告

14. 認知症ケア委員会

構 成 人 員	委 員 長		廣田真理(脳神経内科)
	副委員長		石原奈緒子(集中治療部)
	メ ン バ ー	診 療 局	畑讓(緩和ケア科), 内藤英人(精神・心療内科)
		医 療 技 術 局	辻淳子(薬剤部), 竹内貴記(リハビリテーション部)
		看 護 局	大田福子(3B 師長), 和田みどり(外来部)
事務局他		吉川麻紀(地域医療連携室)	
庶務担当			杉山功治(医事課)
会 議			2018 年 5 月 11 日, 2018 年 10 月 19 日
活動内容			認知症せん妄ケアチーム活動の評価・課題、チームでの研修や勉強会の企画など

15. 排尿リハビリ委員会(排尿自立委員会)

構 成 人 員	委 員 長		増井仁彦(泌尿器科)
	副委員長		大津陽子(医療の質・安全管理室参事), 内田美智代(7A 師長)
	メン バー	医 療 技 術 局	松尾洋史(リハビリテーション部副技師長)
		看 護 局	大坪有紀子(8B), 山崎千恵子(7A)
庶務担当			鈴木幸子(医事課長補佐)
会 議			随時開催
活動内容			第 1 回(6/19)、第 2 回(10/29～11/6 メール会議、第 3 回(3/18～3/26 メール会議)

16. 摂食・嚥下対策委員会

構 成 人 員	委 員 長		若林直樹(診療局長)
	副委員長		廣田伸之(脳神経内科診療部長)
	メン バー	診療局	木戸脇尚子(耳鼻咽喉科), 田中順子(消化器内科)
		医 療 技 術 局	山本伸子(歯科口腔外科副参事), 本里ゆかり(リハビリテーション部)
看護局		松見裕子(6A 副師長), 岩野安希子(8A), 保口志津子(6B), 堀井利花(7A), 柳澤ジュン(8B)	
庶務担当			立山満久(血液浄化部師長)
会 議			随時開催
活動内容			開催実績なし

17. CDE 委員会

構 成 人 員	委 員 長		石井通予(栄養部診療部長)
	副委員長		山下亜希(外来部)
	メ ン バ ー	診 療 局	峠岡佑典(内科)
		医 療 技 術 局	西田なほみ(栄養部技師長), 早川太朗(薬剤部副参事), 瀧井さち子(臨床検査部副参事)
		看 護 局	藤永純宏(8B), 片山裕子(6A), 堀田恵子(7B), 岩間純子・西田千恵・濱綾香(8A), 南部志津子(5A), 栗野麻希(手術部), 田邊智子・小坂奈美(外来部)
		事務局他	鈴木幸子(医事課長補佐)
会 議			随時開催
活動内容			会議(ワーキングチーム会議含む)実施 3 回/年 (2018.6.26/8.28/2019.3.7) 活動実績 ワーキングチームによる活動内容 ● 血糖自己測定器の保守点検(配置全部署ラウンドしチームメンバーが点検実施) ● インスリン製剤取り扱いに伴うインシデント発生への対応 ➢ リキャップ防止対策としてリムーバー使用の推奨、伝達講習実施 ➢ ベッドサイドにて注射準備～実施、後片付けまでを完結させるためのPC ワゴンの整備及び、インスリン注射のマニュアル見直し(RM 部会との協働) ➢ インスリン製剤と取り扱い、リムーバー使用推奨に向けた勉強会の実施(インシデント発生部署に対しての出前講座形式) ➢ 出前講座のポスター作成による啓発活動 会議においては、糖尿病治療を取り巻く現状について、改善に向けた多職種でのディスカッションを実施し、関係各所への協力要請や対策を検討した。

18. 手術部運営委員会

構 成 人 員	委 員 長		七里泰正(院長補佐)
	副委員長		岡部寛(手術部診療部長), 戸田省吾(副院長(手術部診療部長))
	メ ン バ ー	診 療 局	光吉明(院長補佐), 橋口光子(麻酔科診療部長), 高山柄哲(脳神経外科診療部長), 岡野高久(心臓血管外科診療部長), 天野泰彰(産婦人科診療部長), 近藤衣里(眼科診療部長), 松本忠士(歯科口腔外科診療部長), 末廣晃宏(皮膚科診療部長), 小橋裕明(整形外科診療部長)
		医 療 局 技 術 局	木村哲也(放射線部副参事), 竹崎佐弥香(臨床工学部), 鄭智佳(薬剤部)
		看 護 局	力石美穂子(手術部師長), 須佐美智子(集中治療部師長)
会 議			随時開催
活動内容			開催日:2018 年 6 月 14 日(木) 協議事項 1.手術室動画保存システム導入について 2.手術枠調整について 3.手術器材、材料について 4.手術安全について 開催日:2018 年 1 月 21 日(月) 協議事項: 1.償還商品について 2.手術枠調整について 3.医療機器の安全使用を目的とした改善方策について 4.手術部安全について 5.周術期 PTE 予防ガイドライン・弾性ストッキング同意書の一元化について 6.天皇即位 10 連休(4 月・5 月)の運用について 7.保守点検対応終了医療機器

19. 救急・集中治療部運営委員会

構 成 人 員	委 員 長		戸田省吾(副院長)
	副委員長		若林直樹(診療局長), 福井道彦(診療局次長)
	メ ン バ ー	診 療 局	廣田伸之(脳神経内科診療部長), 小尾口邦彦(救急診療科診療部長), 木股正樹(循環器内科診療部長), 木原明生(小児科), 大江秀典(外科・消化器外科・乳腺外科), 林英樹(脳神経外科), 中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長)
		医 療 局 技 術 局	田中敦子(副薬剤長), 田口なおみ(臨床検査部副参事), 竹崎佐弥香(臨床工学部)
		看 護 局	須佐美智子(集中治療部師長), 横田耕治(集中治療部), 大田福子(3B 師長), 吉田修(3B)
		事務局他	杉山功治(医事課)
庶務担当		石原育子(入退院センター副参事)	
会 議		1 回／年 開催	
活動内容		2018 年度 第 1 回救急・集中治療部運営委員会 日時:平成 30 年 12 月 18 日(火)16 時 00 分～17 時 00 分 場所:9 階大会議室 C 会議内容: 1. 救急受け入れに関する事 1) 救急受け入れ方針の明記、マニュアル作成について 2) 救急受け入れストップ、再開の手順について 2. ICU 運用について 3. 脊椎圧迫骨折の夜間・休日の受け入れ状況について	

20. 通院手術部運営委員会

構 成 人 員	委 員 長		橘強(外来通院手術部診療部長)
	副委員長		七里泰正(院長補佐), 近藤衣里(眼科診療部長)
	メ ン バ ー	診 療 局	小橋裕明(整形外科診療部長), 橋口光子(麻酔科診療部長), 末廣晃宏(皮膚科診療部長), 松本忠士(歯科口腔外科診療部長), 五百藏義彦(脳神経外科)
		医 療 技 術 局	青木裕子(臨床検査部), 鄭智佳(薬剤部)
		看 護 局	四井真由美(外来部師長), 内田美智代(7A 師長), 古泉善子(外来部)
		事務局他	石原育子(入退院センター副参事)
庶務担当		辻泰明(医事課)	
会 議		随時開催	
活動内容		外来通院手術部の運営に係る課題等の検討および改善に関すること	

21. 看護専門外来委員会

構成 人員	委員長		堀池公子(看護局長)
	副委員長		青木悦雄(医療の質・安全管理室長), 四井真由美(外来部師長)
	メン バー	看護局	山崎富美子(5B 副師長), 山下亜希(外来部), 大坪有紀子(8B)
		事務局他	大津陽子(医療の質・安全管理室参事), 横山輝弘(経営戦略室)
会 議			2 回／年
活動内容			今年度は前半期・後半期共にメール会議とした。 各専門外来から、報告書をもって専門外来の一年間の概要、利用者数の報告を受け、委員会メンバーに周知した。

22. 化学療法委員会

構成人員	委員長		益澤明(化学療法部診療部長)
	副委員長		中尾光成(内科統括診療部長), 橘強(外来通院手術部診療部長), 初田聡美(看護局次長)
	メンバー	診療局	松本忠士(歯科口腔外科診療部長), 平沼修(呼吸器内科診療部長), 平山貴裕／菅田佳奈(産婦人科), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科), 増井仁彦(泌尿器科), 中島潤(消化器内科)
		医療技術局	瀧井さち子(臨床検査部副参事), 阿部史誉・富田真央(薬剤部)
		看護局	四井真由美(外来部師長), 奥野あす香(外来部), 谷口敦美(8A 副師長), 山中利加(8B 副師長), 萬谷ルミ(5B), 寺田麻子(7A 副師長), 杉江礼子(9A)
		事務局他	川勝政範(医事課), 澤山遼(経営戦略室)
会議		1 回／月 開催	
活動内容		開催日: 2018 年 4 月 25 日(水), 5 月 23 日(水), 6 月 27 日(水), 7 月 25 日(水) 8 月 22 日(水), 9 月 26 日(水), 10 月 24 日(水), 11 月 28 日(水) 2019 年 1 月 23 日(水), 2 月 27 日(水), 3 月 27 日(水) 議 題: 化学療法部利用状況, 入院化学療法実施状況, 新規化学療法口腔ケア受 診件数, がん患者指導管理料算定状況, B 型肝炎再活性化検査状況 等	

23. 薬事委員会

構 成 人 員	委 員 長		中嶋敏宏(院長補佐)
	副委員長		中山英夫(医療技術局長(薬剤長))
	メ ン バ ー	診 療 局	中尾光成(内科統括診療部長), 末廣晃宏(皮膚科診療部長), 城正泰(消化器内科), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科)
		医 療 技 術 局	北川加奈子(医薬品情報管理室長), 三井李紗(薬剤部)
		看 護 局	松見裕子(6A 副師長)
		事務局他	笹森彩乃(医事課)
会 議			4 回／年 開催
活動内容			協議事項 1.新規申請医薬品について 2.院外処方専用医薬品について 3.後発医薬品について 4.登録の変更について 5.登録抹消医薬品について 6.院内製剤について 7.有害事象報告について

24. 輸血療法委員会

構 成 人 員	委 員 長		光吉明(院長補佐)
	副委員長		中尾光成(輸血管理室長)
	メ ン バ ー	診 療 局	岡野高久(心臓血管外科診療部長), 小尾口邦彦(救急診療科診療部長), 全圭夏(消化器内科), 徳地弘(泌尿器科), 松浦宏貴(整形外科), 中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長), 川田悦子(産婦人科)
		医 療 技 術 局	松井まり子(輸血管理室参事), 三島賀美(臨床検査部)
		看 護 局	谷口敦美(8A副師長)
		事務局他	日向美和子(医療の質・安全管理室参事), 杉山功治(医事課) ※院外委員は必要時、大津市医師会委員
会 議			隔月開催
活動内容			【定例報告】 1.血液製剤在庫及び使用量について 2.輸血後感染症検査の実施状況について 3.輸血副作用報告について 4.輸血に関するインシデントについて 5.輸血に関する査定について 6.輸血チームの活動について 【その他の議題】 1. 今年度の輸血療法委員会について(5 月) 2. 血液搬送装置(ATR705-RC05)の運用方法について(5 月・10 月) 3. 輸血同意書の変更について(8 月) 4. 血漿交換症例(8 月・10 月) 5. 大量輸血症例(12 月) 6. 遡及調査について(10 月) 7. 血液製剤の使用指針の一部改訂について(10 月) 8. カリウム吸着フィルターについて(1 月) 9. 緊急輸血マニュアルの改定について(1 月) 10.I&A 取得にむけて(3 月)

25. 給食改善委員会

構 成 人 員	委 員 長		石井通予(栄養部診療部長)
	副委員長		西田なほみ(栄養部技師長)
	メ ン バ ー	診 療 局	高谷季穂(総合内科診療部長), 木股正樹(循環器内科診療部長), 藤田覇留久(外科・消化器外科・乳腺外科)
		医 療 技 術 局	中里有里子(臨床検査部), 本里ゆかり(リハビリテーション部)
		看 護 局	山極久美子(5A 副師長), 奥村紀子(7B 副師長)
		事務局他	水野伸也(施設契約課長), 長田憲(施設契約課)
庶務担当			森本育美(栄養部)
会 議			随時開催
活動内容			<会 議> 第1回 2018 年 5 月 18 日(金) 1 今年度の活動内容について 院内約束食事箋の見直し 食事オーダー締切時間について 早出し食について 第2回 2018 年 12 月 10 日(月) 1 患者の嗜好面への給食の対応について 2 臨時購入品(アルジネード)の新規採用について 3 期限切れが近い濃厚流動食の在庫問題について 第3回 2019 年 3 月 27 日(水)～3 月 31 日(日) ※メール会議 1 2018 年度活動報告 2 食物アレルギー誤入力対策について 3 次年度に向けた課題 患者嗜好満足度調査の実施

26. 緩和ケア診療・病棟運営委員会

構 成 人 員	委 員 長		津田真(緩和ケア科診療部長)
	副委員長		吉田律美(9A 師長)
	メ ン バ ー	診 療 局	平沼修(呼吸器内科診療部長), 益澤明(化学療法部診療部長), 洲崎聡(健診センター診療部長), 内藤英人(精神・心療内科), 笹田侑子(緩和ケア科(公認心理師))
		医 療 技 術 局	神原諒(薬剤部), 藤永ちひろ(リハビリテーション部)
		看 護 局	堀田美紀(9A 副師長), 杉江礼子(9A)
		事務局他	川勝政範(医事課)
庶務担当		上林五月(地域医療連携室長)	
会 議		1 回／年 開催	
活動内容		開催日:2019 年 3 月 5 日 内容:緩和ケアチーム活動・病棟活動・外来活動報告および意見交換	

27. 保険診療適正化委員会

構 成 人 員	委 員 長		中嶋敏宏(院長補佐)
	副委員長		秋田高典(事務局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	小橋裕明(整形外科診療部長), 洲崎聡(外科・消化器外科・乳腺外科), 益澤明(消化器内科)
		医 療 技 術 局	平田順一(リハビリテーション部技師長), 野々山裕己(放射線部), 松井里美(臨床検査部副技師長), 山中理(薬剤部), 吉村規子(臨床工学部)
		看 護 局	西村由香(看護局参事), 嶋林幸子(5A 師長), 山澤弘子(6B 師長), 山田久美(8B 師長), 大田福子(3B 師長)
		事務局他	鈴木幸子(医事課長補佐), 中西みちる・沖野梓(医事課), 医療事務委託業者
庶務担当		辻泰明(医事課)	
会 議		随時開催	
活動内容		保険診療の適正化、円滑な運用に関すること、保険医療機関及び保険医療費担当規則その他保険診療に係る諸事項の遵守・周知・指導、保険診療に係る講習会、その他保険診療に関すること	

28. 診療業務等役割分担推進委員会

構 成 人 員	委 員 長		高見史朗(医療情報センター長)
	副委員長		秋田高典(事務局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	中澤純(内科(腎臓内科部門)診療部長), 大江秀典(外科・消化器外科・乳腺外科), 林英樹(脳神経外科), 西久保芳樹(整形外科)
		医 療 技 術 局	安達幸秀(放射線部技師長), 松井まり子(臨床検査部技師長), 田中敦子(副薬剤長)、吉村規子(臨床工学部)
		看 護 局	中里玉美(3B 副師長), 木下朗子(外来部副師長)
		事務局他	大山由紀子(患者相談支援室長)
庶務担当			中谷貴代(総務課), 川勝政範(医事課)
会 議			随時開催
活動内容			市立大津市民病院における医療従事者の間での役割分担を推進するため、その組織及び業務等基本的な事項を規定することにより、医療従事者の負担を軽減し、良質な医療の継続的な提供を行うことを目的とする。 今年度の取り組みは以下の通り ① 「総合入院体制加算」の施設基準要件「医療従事者の負担軽減及び処遇改善内容」を作成し公開する。 ② 「医師事務作業補助体制加算」の施設基準要件「医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担」の具体的内容を策定する。 ③ 前年度の「医療従事者の負担軽減及び処遇改善計画」を評価する。

29. がん診療推進委員会

構 成 人 員	委 員 長		高見史朗(医療情報センター長)
	副委員長		青木悦雄(副院長), 若林直樹(診療局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	平沼修(呼吸器内科診療部長), 天野泰彰(産婦人科診療部長), 平井健次郎(外科・消化器外科・乳腺外科), 井伊庸弘(呼吸器外科), 全圭夏(消化器内科), 増井仁彦(泌尿器科), 笹田侑子(緩和ケア科(公認心理師))
		医 療 技 術 局	阿部史誉(薬剤部)
		看 護 局	杉江礼子(9A), 奥野あす香(外来部), 大坪有紀子(7A)
		事務局他	松林裕和・寺田貴子(診療情報管理室), 川勝政範(医事課)
庶務担当			<u>上林五月</u> (地域医療連携室長), <u>田中光</u> (地域医療連携室)
会 議			随時開催
活動内容			開催日:2018 年 12 月 7 日 内容:滋賀県がん診療連携推進協議会のメンバーおよび活動報告、情報共有

30. B型肝炎訴訟に関する証明書発行委員会

構 成 人 員	委 員 長	青木悦雄(副院長)
	副委員長	高見史朗(消化器内科(肝臓部門)診療部長)
	診療局	末廣晃宏(皮膚科診療部長), 益澤明・城正泰(消化器内科)
庶務担当		笹森彩乃(医事課)
会 議		随時開催
活動内容		開催なし。証明書発行の申請に際して適宜開催

◆ 病院運営関係

31. 総合インフラ整備委員会

構 成 人 員	委 員 長	片岡慶正(院長)
	副委員長	青木悦雄(副院長), 戸田省吾(副院長), 三島誠悟(院長特別補佐), 若林直樹(診療局長), 堀池公子(看護局長), 秋田高典(事務局長)
会 議		随時開催
活動内容		開催実績なし

32. 安全衛生委員会

構 成 人 員	委 員 長		秋田高典(事務局長)
	副委員長		立山満久(血液浄化部師長), 堤夏美(外来部副師長)
	メ ン バ ー	診 療 局	高谷季穂(総合内科診療部長(産業医)), 畑讓(精神・心療内科診療部長(産業医)), 城正泰(消化器内科(産業医))
		医 療 技 術 局	中山英夫(医療技術局長(薬剤長)), 中島伸(放射線部)
		看 護 局	堀池公子(看護局長), 上路由美(血液浄化部副師長), 高田綾子(8A), 辻智沙子(8B), 徳永桃里・山本雪絵(6B)
庶務担当			徳永眞一(総務課長), 田中里衣(総務課(保健師)), 佛円悠介(総務課)
会 議			1 回／月 開催
活動内容			職員の安全衛生に関する事業、職場巡視の実施

33. 病院ボランティア委員会

構 成 人 員	委 員 長		片岡慶正(院長)
	副委員長		大山由紀子(患者相談支援室長)
	メン バー	診療局	津田真(緩和ケア科診療部長)
		看護局	堀田美紀(9A 副師長)
庶務担当			宮本直樹(総務課)
会 議			随時開催
活動内容			協議事項がなかったため、非開催

34. 総合医療情報システム委員会

構 成 人 員	委 員 長		高見史朗(医療情報センター長)
	副委員長		廣田伸之(脳神経内科診療部長), 渡邊良子(看護局次長)
	メ ン バ ー	診 療 局	小尾口邦彦(救急診療科診療部長), 中尾光成(臨床検査部診療部長), 木原明生(小児科)
		医 療 技 術 局	田口一也(臨床検査部副参事), 山中理(薬剤部)
		看護局	中里玉美(3B 副師長), 寺田麻子(7A 副師長), 谷口敦美(8A 副師長), 松見裕子(6A 副師長), 木下朗子(外来部副師長)
事務局他		徳永眞一(事務局次長), 福井悠介(施設契約課)	
庶務担当			平井洋平(医療情報システム室)
会 議			随時開催
活動内容			【2019/2/19 サイボウズ発信】 2019 年 6 月に実施予定の電子カルテレベルアップに伴うシステム停止予定を報告。 レベルアップに伴い機能追加が発生する点、機能ON, OFFの判断を全職員宛に周知すること。レベルアップ経験者も少なく、前回の反省点やアドバイスの収集を実施。

35. 情報セキュリティ委員会

構 成 人 員	委 員 長		高見史朗(医療情報センター長)
	副委員長		福井道彦(診療局次長)
	メ ン バ ー	医 療 技 術 局	中山英夫(医療技術局(薬剤長))
		看 護 局	堀池公子(看護局長)
		事務局他	秋田高典(事務局長), 徳永眞一(事務局次長)
庶務担当			平井洋平(医療情報システム室)
会 議			随時開催
活動内容			【2018/12/14 サイボウズ発信】 病院配布のUSB取り扱いにて協議 【今後の USB 取り扱いの方針について】 ① OS 管理室にて個人 USB を使用したデータ抽出や入れ込みについて、一切禁止する。 ② OS 管理室にて記憶媒体を使用したデータ抽出や入れ込みを行う場合は、申請書を提出する運用へ変更する。 ③ 私用 PC に、絶対に個人が特定されるデータは保存しないことを、再度周知徹底する。 今後の運用方法を確認。

36. 広報委員会

構 成 人 員	委 員 長		光吉明(院長補佐)
	副委員長		高見史朗(医療情報センター長)
	メ ン バ ー	診 療 局	青木悦雄(副院長), 岡部寛(手術部診療部長)
		医 療 技 術 局	三島賀美(臨床検査部), 嘉数隼人(臨床工学部)
		看 護 局	吉田律美(9A 師長), 嶋林幸子(5A 師長), 立山満久(血液浄化部師長)
事務局他		秋田高典(事務局長), 石原育子(入退院センター副参事)	
庶務担当			蟻田美和(経営戦略室)
会 議			随時開催
活動内容			【開催日】 第 1 回:2018 年 5 月 28 日(月)

	第2回:2018年6月25日(月) 第3回:2018年8月27日(月) 第4回:2018年9月26日(水) 第5回:2018年10月22日(月) ※サイボウズメールによる Web 会議 第6回:2018年12月25日(火) ※サイボウズメールによる Web 会議 第7回:2019年1月28日(月) 第8回:2019年2月25日(月) 【議題および報告事項等】 ・広報誌「つなぐ」(第3号・第4号・第5号)について ・「平成31年度 地域医療連携ガイドブック」について ・「夏休み わくわく病院体験・探検」について ・「平成29年度 病院年報」について ・患者満足度アンケート結果について(広報にかかる項目のみ) ・ホームページアクセス分析について 他
--	---

37. 医療機器選定委員会

構 成 人 員	委 員 長		三島誠悟(院長特別補佐)
	副委員長		青木悦雄(副院長)
	メ ン バ ー	診 療 局	戸田省吾(副院長), 若林直樹(診療局長), 小尾口邦彦(救急診療科診療部長)
		医 療 技 術 局	安達幸秀(放射線部技師長), 松井まり子(臨床検査部技師長), 木村啓志(臨床工学部副参事)
		看 護 局	力石美穂子(手術部師長), 横谷恵(集中治療部副師長)
		事務局他	秋田高典(事務局長), 秦憲治(事務局次長), 水野伸也(施設契約課長)
庶務担当		福井悠介(施設契約課)	
会 議		随時開催	
活動内容		機器選定大委員会:開催なし 機器選定小委員会:デモンストレーションの承認 14 件、 新規医療機器の採用承認:2 件	

38. 物品購入委員会

構成人員	委員長		三島誠悟(院長特別補佐)
	副委員長		七里泰正(院長補佐)
	メンバ	診療局	高見史朗(消化器内科(肝臓部門)診療部長), 橘強(外来通院手術部診療部長), 小尾口邦彦(救急診療科診療部長), 小橋裕明(整形外科診療部長), 中條卓也(循環器内科)
		医療技術局	田口一也(臨床検査部副参事), 山本芳弘(放射線部副参事), 上田紘平(臨床工学部)
		看護局	渡邊良子(看護局次長), 中川かつ代(手術部副師長)
		事務局他	秦憲治(経営管理課長)
庶務担当		長田憲(施設契約課)	
会議		1回／月 開催	
活動内容		2018年4月25日(水) 17時15分 本館9階 会議室B 1 物品購入申請について	
		2018年5月23日(水) 17時15分 本館9階 会議室B 1 物品購入申請について	
		2018年6月27日(水) 17時15分 本館9階 会議室B 1 物品購入申請について 2 物品切替提案	
		2018年6月27日(水) 17時15分 本館9階 会議室B 1 物品購入申請について 2 物品切替提案	

	2018 年 8 月 22 日(水) 17 時 15 分 本館 9 階 会議室 B
	1 物品購入申請について 2 施設契約課報告 3 物品切替提案
	2018 年 10 月 24 日(水) 17 時 15 分 本館 9 階 会議室 B
	1 物品購入申請について 2 物品切替提案
	2018 年 11 月 28 日(水) 17 時 15 分 本館 9 階 会議室 B
	1 物品購入申請について 2 サンプル報告 3 物品切替提案
	2018 年 12 月 26 日(水) 17 時 15 分 本館 9 階 会議室 B
	1 物品購入申請について 2 物品切替提案
	2019 年 2 月 27 日(水) 17 時 15 分 本館 9 階 会議室 B
	1 物品購入申請について 2 物品切替提案
	2019 年 3 月 27 日(水) 17 時 15 分 本館 9 階 会議室 B
	1 物品購入申請について 2 施設契約課報告 3 物品切替提案

39. ベッドコントロール委員会

構 成 人 員	委 員 長		戸田省吾(副院長)
	副委員長		光吉明(院長補佐), 渡邊良子(看護局次長), 秋田高典(事務局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	三島誠悟(院長特別補佐), 中尾光成(内科統括診療部長), 小橋裕明(整形外科診療部長)
		看 護 局	嶋林幸子(5A 師長), 川島もと子(5B 師長), 吉田すみ子(6A 師長), 山澤弘子(6B 師長), 内田美智代(7A 師長), 高木文子(7B 師長), 高橋智枝子(8A 師長), 山田久美(8B 病棟), 須佐美智子(集中治療部師長), 大田福子(3B 師長), 吉田律美(9A 師長)
		事務局他	上林五月(地域医療連携室長), 四方美幸(地域医療連携室), 横山輝弘(経営戦略室)
庶務担当			中西みちる(医事課)
会 議			随時開催
活動内容			①2018 年 5 月 16 日(水) ・長期入院患者実態調査の有効性と今後の運用について ②2018 年 9 月 19 日(水) ・長期入院患者実態調査の継続について

◆ 地域医療関係

40. 地域医療連携推進協議会(旧 地域医療支援委員会)

構 成 人 員	委 員 長		木村隆(大津市医師会長)
	メン バー	診 療 局	片岡慶正(院長), 青木悦雄(副院長), 福井道彦(診療局次長)
		医 療 技 術 局	北川加奈子(医薬品情報管理室長)
		看 護 局	堀池公子(看護局長)
		事務局他	秋田高典(事務局長), 河原啓文(医事課長) その他院外委員
庶務担当			上林五月(地域医療連携室長)

会 議	1 回／年 開催
活動内容	開催日:2018 年 8 月 30 日 内容:推進協議会の主旨説明、当院の活動報告

41. 地域災害医療対策委員会

構 成 人 員	委 員 長		戸田省吾(副院長)
	副委員長		小尾口邦彦(救急診療科診療部長), 秋田高典(事務局長)
	メ ン バ ー	診 療 局	福井道彦(診療局次長), 小橋裕明(整形外科診療部長)
		医 療 技 術 局	岡本恵子(臨床検査部), 中井和美(栄養部), 神原諒(薬剤部), 廣瀬元(臨床工学部)
		看 護 局	大田福子(3B 師長), 牧田知也・横田耕治(集中治療部), 中野淳子・吉田修(3B)
		事務局他	上野隆平(事務局部長), 河原啓文(医事課長), 大石達也(施設契約課長補佐)
庶務担当			宮本直樹(総務課)
会 議			随時開催
活動内容			協議事項がなかったため、非開催

42. 訪問看護ステーション運営懇談会

構 成 人 員	院　　外	井上文彦(大津市医師会　在宅療養推進部理事)
		その他院外担当者 4 名
	診　療　局	青木悦雄(副院長)
	看　護　局	松見裕子(6A 副師長)
	事務局他	大石達也(訪問看護ステーション副参事) その他訪問看護ステーション職員
庶務担当		須原輝美(訪問看護ステーション所長)
会　　議		1 回／年　開催
活動内容		前年度運営状況について・事例報告

43. 院外薬局連携委員会

構 成 人 員	委 員 長		青木悦雄(副院長)
	副委員長		中山英夫(医療技術局長(薬剤長))
	メン バー	診 療 局	中嶋敏宏(診療局次長), 高谷季穂(総合内科診療部長), 中條卓也(循環器内科)
		医 療 技 術 局	北川加奈子(医薬品情報管理室長)
	庶務担当		中西みちる(医事課)
会 議		1 回／年 開催	
活動内容		開催実績なし	

◆ 倫理・研究・教育関係

44. 医療倫理委員会

構 成 人 員	委 員 長		七里泰正(院長補佐)
	副委員長		初田聡美(看護局次長)
	メ ン バ ー	診 療 局	若林直樹(診療局長), 中嶋敏宏(院長補佐), 橘強(外来通院手術部診療部長), 岡野高久(心臓血管外科診療部長), 津田真(緩和ケア科診療部長), 石井通予(内科(糖尿病・内分泌)診療部長)
		医 療 技 術 局	中山英夫(医療技術局長(薬剤長)), 平田順一(リハビリテーション部技師長), 田口一也(臨床検査部副参事)

	看護局	川島もと子(5B 師長), 高橋智枝子(8A 師長), 内田美智代(7A 師長)
	事務局他	秋田高典(事務局長) 必要に応じて院外委員
庶務担当		佛円悠介(総務課)
会 議		随時開催
活動内容		審議申請のあった各種研究等の事案について、倫理的問題・課題を検討・協議。 WEB を中心に委員会を開催

45. 受託研究審査委員会

構 成 人 員	委 員 長		三島誠悟(院長特別補佐)
	副委員長		岡野高久(心臓血管外科診療部長)
	メ ン バ ー	診 療 局	中嶋敏宏(院長補佐), 石井通予(内科(糖尿病・内分泌)診療部長)
		医 療 技 術 局	中山英夫(医療技術局長(薬剤長)), 瀧井さち子(臨床検査部副参事)
		看 護 局	堀池公子(看護局長)
		事務局他	徳永眞一(総務課長) その他院外委員
庶務担当			山本まどか(治験管理センター)
会 議			随時開催
活動内容			開催実績なし

46. 研究利益相反審査委員会

構 成 人 員	委 員 長		若林直樹(診療局長)
	副委員長		初田聡美(看護局次長)
	メ ン バ ー	診 療 局	七里泰正(院長補佐), 中嶋敏宏(院長補佐), 中尾光成(内科統括診療部長), 岡野高久(心臓血管外科診療部長), 津田真(緩和ケア科診療部長)
		医 療 技 術 局	中山英夫(医療技術局長(薬剤長))
		看 護 局	初田聡美(看護局次長)
庶務担当			山本まどか(治験管理センター)
会 議			随時開催
活動内容			開催実績なし

47. 学術図書委員会

構 成 人 員	委 員 長		光吉明(院長補佐)
	副委員長		石井通予(内科(糖尿病・内分泌)診療部長)
	メ ン バ ー	診 療 局	天野泰彰(産婦人科診療部長), 津田真(緩和ケア科診療部長), 中島潤(消化器内科), 峠岡佑典(内科), 益澤尚子(病理診断科診療部長)
		医 療 技 術 局	中野博之(臨床検査部副参事), 早川太朗(薬剤部参事), 坂東大輔(放射線部), 生田悦子(リハビリテーション部), 上田紘平(臨床工学部), 森本育美(栄養部)
		看 護 局	吉田律美(9A 師長), 吉田すみ子(6A 師長)
		事務局他	神山優哉(経営管理課)
庶務担当		佛円悠介(総務課)	
会 議		随時開催	
活動内容			第1回開催日:2018年5月10日(木) 議題:1. 市立大津市民病院雑誌 第20号の発行について 2. 病院雑誌募集原稿における認定看護師枠の新設について 第2回開催日:2018年11月6日(火) 議題:1. 図書館の書籍貸し出し期間について

48. 脳死判定委員会

構 成 人 員	委 員 長		三島誠悟(院長特別補佐)
	副委員長		廣田伸之(脳神経内科診療部長)，福井道彦(診療局次長)
	メン バー	診 療 局	若林直樹(診療局長)，高山柄哲(脳神経外科診療部長)， 小尾口邦彦(救急診療科診療部長)
		医 療 技 術 局	中山英夫(医療技術局長(薬剤長))，田口なおみ(臨床検査部副参事)
		看 護 局	山澤弘子(6B 師長)，須佐美智子(集中治療部師長)
		事務局他	秋田高典(事務局長)，日向美和子(医療の質・安全管理室参事)
庶務担当		荒銭浩太郎(総務課)	
会 議		随時開催	
活動内容		開催実績なし	

49. 医科臨床研修管理委員会

構 成 人 員	委 員 長		片岡慶正(院長)
	副委員長		福井道彦(臨床研修センター長)
	メン バー	診 療 局	若林直樹(診療局長), 岡部寛(臨床研修センター次長), 中嶋敏宏(小児科診療部長), 中尾光成(内科統括診療部長), 橋口光子(麻酔科診療部長), 天野泰彰(産婦人科診療部長), 城正泰(臨床研修センター次長), 胡井優・岡本拓希(臨床研修センター(研修医))
		医 療 技 術 局	中山英夫(医療技術局長(薬剤長))
		看 護 局	堀池公子(看護局長)
		事務局他	秋田高典(事務局長) 院外委員 22 名
庶務担当		宮本直樹・山本まどか(臨床研修センター)	
会 議		年 3 回開催	
活動内容		研修医の状況について、地域医療研修について、研修医の修了認定について、2020 年度の研修プログラム変更について等を外部委員と共に協議した。	

50. 歯科臨床研修管理委員会

構 成 人 員	委 員 長		片岡慶正(院長)
	副委員長		福井道彦(臨床研修センター長)
	メン バー	診療局	松本忠士(歯科口腔外科診療部長), 中尾光成(内科統括診療部長), 岡部寛(臨床研修センター次長)
		事務局他	古藤博司(古藤第三歯科医院), 秋田高典(事務局長)
	庶務担当		宮本直樹・山本まどか(臨床研修センター)
会 議		年 2～3 回開催	
活動内容		研修医の状況について、研修医の修了認定について等を外部委員と共に協議した。	

51. 院内教育・研修委員会

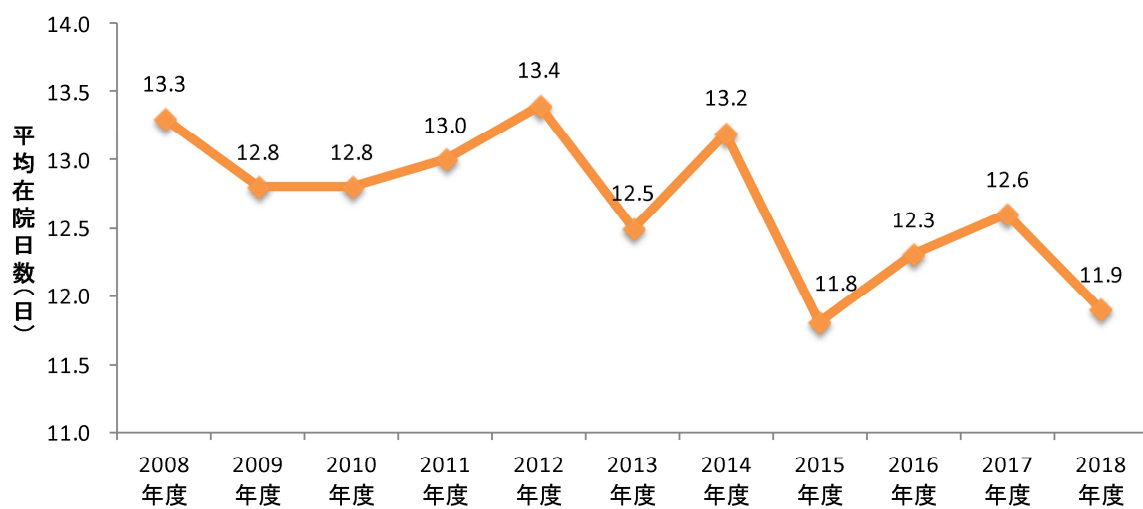
構 成 人 員	委 員 長		片岡慶正(院長)
	副委員長		福井道彦(臨床研修センター長)
	メ ン バ ー	診療局	岡部寛・城正泰(臨床研修センター次長)
		医 療 技術局	森恵美子(臨床検査部), 中井和美(栄養部)
		看護局	初田聡美(看護局次長)
		事務局他	山本まどか(臨床研修センター・総務課)
庶務担当		宮本直樹(臨床研修センター・総務課)	
会 議		随時開催	
活動内容		3 月に人権研修(パワハラ等)に関する研修会の開催	

統計資料

【平均在院日数年次推移】

(単位: 日)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
平均 在院日数	13.3	12.8	12.8	13.0	13.4	12.5	13.2	11.8	12.3	12.6	11.9



【平均在院日数年次推移(診療科別)】

(単位: 日)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	前年同期差
内 科	14.9	14.3	15.6	14.4	14.6	0.2
消化器内科	8.7	7.9	8.6	7.7	8.2	0.5
呼吸器内科	21.6	16.0	15.0	17.3	17.7	0.4
呼吸器外科	4.2	4.7	4.6	5.3	4.6	-0.7
小 児 科	6.0	5.3	5.8	5.5	5.2	-0.3
外 科	11.2	9.5	9.3	10.2	12.0	1.8
整形外科	20.5	18.6	17.4	16.9	15.6	-1.3
産婦人科	12.1	11.0	11.1	9.9	9.4	-0.5
眼 科	2.9	3.0	3.1	2.6	2.7	0.1
耳鼻咽喉科	5.7	5.3	5.5	6.4	5.9	-0.5
泌尿器科	10.8	10.2	10.7	9.8	10.5	0.7
皮膚科	15.0	10.8	11.8	13.4	13.9	0.5
歯科口腔外科	3.3	3.7	3.7	3.4	3.2	-0.2
脳神経外科	20.7	16.2	14.7	13.6	12.8	-0.8
脳神経内科	20.0	15.4	15.6	16.3	15.3	-1.0
心臓血管外科	14.5	10.2	7.8	8.6	8.0	-0.6
循環器内科	8.7	8.0	7.3	7.5	8.9	1.4
精神・心療内科	6.3	5.1	4.6	5.7	7.5	1.8
緩和ケア科	25.3	27.8	25.8	26.4	24.2	-2.2
病院全体	13.2	11.8	12.3	12.6	11.9	-0.7

【2018 年度 診療科別患者数(入院・外来)】

(単位:人)

診療科	入院患者数		外来患者数	
	年間延患者数	1日平均患者数	年間延患者数	1日平均患者数
内科	21,562	59.1	29,752	121.9
消化器内科	14,777	40.5	20,811	85.3
呼吸器内科	9,026	24.7	9,322	38.2
呼吸器外科	1,195	3.3	1,084	4.4
小児科	2,748	7.5	10,442	42.8
外科	13,307	36.5	12,005	49.2
整形外科	13,823	37.9	19,432	79.6
産婦人科	5,318	14.6	9,288	38.1
眼科	479	1.3	8,801	36.1
耳鼻咽喉科	1,335	3.7	8,276	33.9
泌尿器科	5,768	15.8	12,593	51.6
皮膚科	2,764	7.6	11,313	46.4
歯科口腔外科	1,222	3.3	11,618	47.6
放射線科	0	0	2,715	11.1
脳神経外科	7,905	21.7	9,317	38.2
脳神経内科	9,505	26.0	7,621	31.2
心臓血管外科	1,624	4.4	3,219	13.2
循環器内科	8,528	23.4	14,635	60.0
精神・心療内科	382	1.0	7,867	32.2
緩和ケア科	4,816	13.2	176	0.7
感染症科	(0)	(0)	－	－
小計	126,084	345.4	210,287	861.8
新生児	1,277	3.5	－	－
合計	127,361	348.9	210,287	861.8

※入院日数 365 日 外来診療日数 244 日

※入院については、転棟・転科を除く。

【2018 年度 入院患者数推移(診療科別・月別)】

上段…新入院患者 下段…入院患者延べ数

	内科	消化器内科	呼吸器内科	呼吸器外科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	皮膚科	形成外科
4月	65 1,607	128 1,206	43 707	17 119	55 213	72 978	61 1,331	56 524	18 36	6 43	40 442	17 294	0 0
5月	109 2,031	137 1,510	39 725	16 107	46 200	55 876	53 1,267	76 567	20 40	5 53	43 466	11 208	0 0
6月	82 2,055	140 1,258	42 848	12 87	47 269	71 1,102	45 1,277	65 547	17 36	0 40	38 405	12 190	0 0
7月	94 1,828	137 1,252	39 771	17 125	58 278	65 1,040	53 1,162	53 406	17 32	15 74	53 476	13 264	0 0
8月	96 1,719	133 1,471	43 917	11 77	61 306	72 1,290	44 1,039	67 460	14 30	24 141	59 540	17 340	0 0
9月	95 1,610	118 1,355	37 745	5 88	49 235	62 1,076	53 1,150	49 411	18 37	23 199	44 504	9 249	0 0
10月	85 1,602	145 1,372	44 710	15 117	53 243	75 943	49 1,099	52 413	22 41	21 134	53 560	11 206	0 0
11月	101 1,640	154 1,204	34 697	15 126	50 229	63 1,166	54 1,113	46 434	17 38	19 114	48 453	16 234	0 0
12月	87 1,866	107 929	21 597	9 84	39 198	64 1,140	53 1,085	51 451	20 40	18 170	46 461	11 251	0 0
1月	117 1,951	107 1,043	39 771	8 71	43 168	77 1,178	53 1,205	62 414	20 40	19 139	50 495	5 174	0 0
2月	99 1,722	114 1,026	38 816	11 76	42 210	67 1,149	41 1,015	46 339	28 56	13 92	50 455	9 114	0 0
3月	74 1,931	126 1,151	34 722	17 118	41 199	75 1,369	49 1,080	40 352	27 53	21 136	46 511	11 240	0 0
合計	1,104 21,562	1,546 14,777	453 9,026	153 1,195	584 2,748	818 13,307	608 13,823	663 5,318	238 479	184 1,335	570 5,768	142 2,764	0 0
	歯科	放射線科	脳神経	心臓血管	脳神経内科	循環器内科	心療内科	緩和ケア科	合計	入院	退院		
4月	32 115	0 0	30 523	13 89	32 1,017	74 721	3 10	12 370	774 10,345				
5月	32 92	0 0	27 587	6 68	32 965	75 856	3 29	15 360	800 11,007				
6月	26 92	0 0	32 529	12 102	35 782	63 545	3 42	9 433	751 10,639				
7月	27 94	0 0	34 620	23 230	39 822	59 665	2 32	8 520	806 10,691				
8月	45 121	0 0	33 561	18 137	35 815	48 596	4 47	12 493	836 11,100				
9月	33 106	0 0	38 621	17 225	24 644	51 487	0 20	9 390	734 10,152				
10月	31 108	0 0	35 608	19 164	35 596	45 534	2 6	9 318	801 9,774				
11月	27 91	0 0	39 832	13 139	37 735	67 770	3 40	7 269	810 10,324				
12月	37 103	0 0	32 754	7 87	35 734	46 674	2 92	16 339	701 10,055				
1月	31 106	0 0	41 678	10 93	40 873	56 804	5 24	13 434	796 10,661				
2月	25 79	0 0	36 824	13 126	38 811	62 878	4 30	12 429	748 10,247				
3月	40 115	0 0	24 768	11 164	27 711	59 998	4 10	10 461	736 11,089				
合計	386 1,222	0 0	401 7,905	162 1,624	409 9,505	705 8,528	35 382	132 4,816	9,293 126,084				

※上段の新入院患者数
には転棟・転科分を
含んでいない。

【2018 年度 外来患者数推移(診療科別・月別)】

上段…新患者

	内科	消化器内科	呼吸器内科	呼吸器外科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	皮膚科	形成外科
4月	178 2,305	187 1,673	51 733	9 104	139 813	54 935	212 1,624	55 744	32 623	65 605	47 966	120 900	0 31
5月	209 2,410	192 1,708	36 818	6 86	141 874	47 987	227 1,797	51 762	41 719	85 647	61 1,117	150 978	2 33
6月	161 2,329	186 1,642	52 749	7 78	162 891	44 981	202 1,824	57 808	41 814	55 597	56 1,023	132 944	2 32
7月	270 2,527	181 1,732	45 726	4 84	167 924	47 943	195 1,618	43 702	47 766	73 647	69 1,048	143 1,002	6 44
8月	246 2,523	193 1,758	50 793	3 80	150 939	52 1,057	190 1,764	54 800	37 707	101 747	51 1,098	174 1,080	4 30
9月	176 2,197	174 1,613	40 660	3 92	121 780	57 926	180 1,424	42 753	24 654	72 639	42 1,020	151 896	1 35
10月	180 2,576	217 1,876	54 870	11 115	75 783	43 1,121	237 1,712	54 855	35 739	74 783	45 1,053	97 894	3 59
11月	164 2,361	203 1,763	54 830	7 80	116 802	46 1,015	179 1,608	32 821	41 777	75 718	58 1,022	83 845	1 46
12月	304 2,580	197 1,736	49 822	8 91	181 911	57 985	191 1,463	54 772	41 762	75 710	47 1,087	103 842	3 39
1月	752 3,167	234 1,697	49 770	3 85	280 1,029	42 995	183 1,531	43 702	37 758	66 666	46 1,050	93 776	4 45
2月	270 2,431	193 1,752	39 748	4 82	172 783	41 975	150 1,513	43 762	27 723	75 692	43 996	86 788	1 37
3月	191 2,346	223 1,861	40 803	8 107	108 913	46 1,085	172 1,554	38 807	20 759	103 825	47 1,113	113 886	1 51
合計	3,101 29,752	2,380 20,811	559 9,322	73 1,084	1,812 10,442	576 12,005	2,318 19,432	566 9,288	423 8,801	919 8,276	612 12,593	1,445 10,831	28 482
	矯正歯科	放射線科	脳神経	心臓血管	脳神経内科	循環器内科	心療内科	緩和ケア科	合計				
4月	0 0	80 226	112 773	12 220	54 593	50 1,244	41 629	2 9	1,782 16,680				
5月	0 0	85 183	115 817	5 233	76 654	44 1,325	26 701	6 12	1,902 17,869				
6月	0 0	79 218	101 765	12 270	77 653	37 1,264	23 643	5 11	1,763 17,449				
7月	0 0	98 229	112 818	12 309	69 708	47 1,272	23 668	4 11	1,953 17,696				
8月	0 0	73 234	126 857	8 289	73 659	44 1,291	24 684	1 11	1,979 18,430				
9月	0 0	74 217	88 699	15 282	49 538	43 1,096	25 611	3 13	1,649 16,037				
10月	0 0	63 194	101 827	14 284	85 719	34 1,299	32 703	8 18	1,794 18,496				
11月	0 0	69 249	115 754	11 293	54 573	35 1,187	28 671	6 18	1,700 17,410				
12月	0 0	77 231	89 735	2 279	47 619	45 1,196	28 630	12 24	1,856 17,395				
1月	0 0	80 252	103 758	3 252	57 598	36 1,145	29 632	7 14	2,412 17,806				
2月	0 0	79 228	75 695	7 229	70 615	44 1,108	33 629	9 18	1,800 16,813				
3月	0 0	83 254	120 819	7 279	75 692	46 1,208	37 666	7 17	1,860 18,206				
合計	0 0	940 2,715	1,257 9,317	108 3,219	786 7,621	505 14,635	349 7,867	70 176	22,450 210,287				

【入院患者数推移(年度別月別)】

入院	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ患者数	2018	10,345	11,007	10,639	10,691	11,100	10,152	9,774	10,324	10,055	10,661	10,247	11,089	126,084	10,507
		98.0	104.3	108.9	106.4	110.3	98.7	86.8	94.7	88.7	95.6	101.0	102.5	99.4	
	2017	10,552	10,557	9,769	10,047	10,060	10,283	11,257	10,900	11,340	11,148	10,141	10,814	126,868	10,572
		92.4	96.2	90.2	88.9	88.0	94.1	105.7	103.5	99.4	101.9	94.3	97.1	95.9	
	2016	11,421	10,971	10,829	11,303	11,431	10,926	10,648	10,535	11,404	10,944	10,752	11,136	132,300	11,025
		98.2	96.9	100.6	103.1	105.4	104.6	96.7	106.2	102.7	96.1	96.7	97.0	100.2	
	2015	11,629	11,322	10,768	10,966	10,850	10,450	11,009	9,922	11,106	11,387	11,121	11,481	132,011	11,001
		98.9	96.3	93.9	90.3	84.8	90.2	85.5	80.6	88.4	87.7	92.8	87.6	89.6	
	2014	11,759	11,753	11,469	12,142	12,798	11,583	12,870	12,313	12,563	12,978	11,979	13,106	147,313	12,276
		93.1	89.3	95.0	99.5	102.4	100.2	106.6	102.8	100.2	109.6	102.6	104.9	100.4	
	(対前年度同月比)														
入院患者数	2018	774	800	751	806	836	734	801	810	701	796	748	736	9,293	774
		98.6	98.5	95.8	92.3	98.4	92.7	93.4	95.7	83.9	94.3	98.4	87.7	94.1	
	2017	785	812	784	873	850	792	858	846	836	844	760	839	9,879	823
		89.7	97.2	91.1	98.3	88.8	94.6	97.1	98.1	99.8	93.2	93.7	97.6	94.9	
	2016	875	835	861	888	957	837	884	862	838	906	811	860	10,414	868
		109.1	110.3	105.1	103.1	113.8	103.6	102.3	103.1	95.9	104.6	93.2	95.9	103.2	
	2015	802	757	819	861	841	808	864	836	874	866	870	897	10,095	841
		105.1	97.2	103.4	106.0	101.7	99.6	101.8	109.3	105.9	102.7	113.6	95.6	103.3	
	2014	763	779	792	812	827	811	849	765	825	843	766	938	9,770	814
		64.4	69.7	77.3	73.2	71.7	78.4	74.4	69.8	70.8	113.3	108.5	121.8	79.8	
	(対前年度同月比)														
退院患者数	2018	775	764	799	781	845	761	796	783	789	697	737	777	9,304	775
		97.1	95.9	97.4	91.8	101.7	96.5	93.5	94.0	88.4	91.8	94.0	91.6	94.4	
	2017	798	797	820	851	831	789	851	833	893	759	784	848	9,854	821
		88.0	101.5	93.8	94.8	89.5	91.9	94.5	105.0	89.3	96.7	97.3	95.2	94.5	
	2016	907	785	874	898	929	859	901	793	1,000	785	806	891	10,428	869
		110.2	98.9	107.0	104.9	112.1	105.5	96.0	102.5	107.4	100.6	94.5	98.5	103.1	
	2015	823	794	817	856	829	814	939	774	931	780	853	905	10,115	843
		110.2	99.6	108.5	106.5	96.8	105.0	113.3	95.9	108.9	103.7	109.1	98.7	104.6	
	2014	747	797	753	804	856	775	829	807	855	752	782	917	9,674	806
		64.9	69.9	72.3	73.1	73.5	74.7	73.7	72.9	68.3	123.7	107.9	116.7	79.0	
	(対前年度同月比)														
1日平均患者数	2018	345	355	355	345	358	338	315	344	324	344	366	358	-	
		98.0	104.1	108.9	106.5	110.2	98.5	86.8	94.8	88.5	95.6	101.1	102.6	-	0.0
	2017	352	341	326	324	325	343	363	363	366	360	362	349	-	348
		92.4	96.3	90.3	88.8	88.1	94.2	105.8	103.4	99.5	102.0	94.3	97.2	-	95.9
	2016	381	354	361	365	369	364	343	351	368	353	384	359	-	362
		98.2	97.0	100.6	103.1	105.4	104.6	96.6	106.0	102.8	96.2	100.3	97.0	-	100.5
	2015	388	365	359	354	350	348	355	331	358	367	383	370	-	361
		98.7	96.1	93.7	90.1	84.5	89.9	85.3	80.5	88.2	87.4	89.3	87.3	-	89.4
	2014	393	380	383	393	414	387	416	411	406	420	429	424	-	404
		93.3	89.4	95.3	99.7	102.7	100.5	106.7	103.0	100.5	109.9	102.9	105.2	-	100.3
	(対前年度同月比)														
平均在院日数(全体) (日)	2018	12.6	12.6	12.6	12.2	11.8	11.5	11.3	11.1	11.2	11.5	12.2	12.4		
	2017	12.8	13.0	12.9	11.9	11.6	12.2	12.7	12.9	12.6	12.8	12.7	12.7		
	2016	12.1	12.5	12.8	12.7	12.3	12.3	12.2	12.2	12.0	12.1	12.1	12.2		
	2015	12.7	12.3	12.1	11.8	11.5	11.4	11.6	11.7	11.6	11.9	11.9	12.1		
	2014	12.9	13.2	13.8	13.5	13.4	12.9	13.0	12.9	13.1	13.2	13.4	13.2		

※平成 26 年 1 月分より上段の新入院患者数には転棟・転科分を含んでいない。

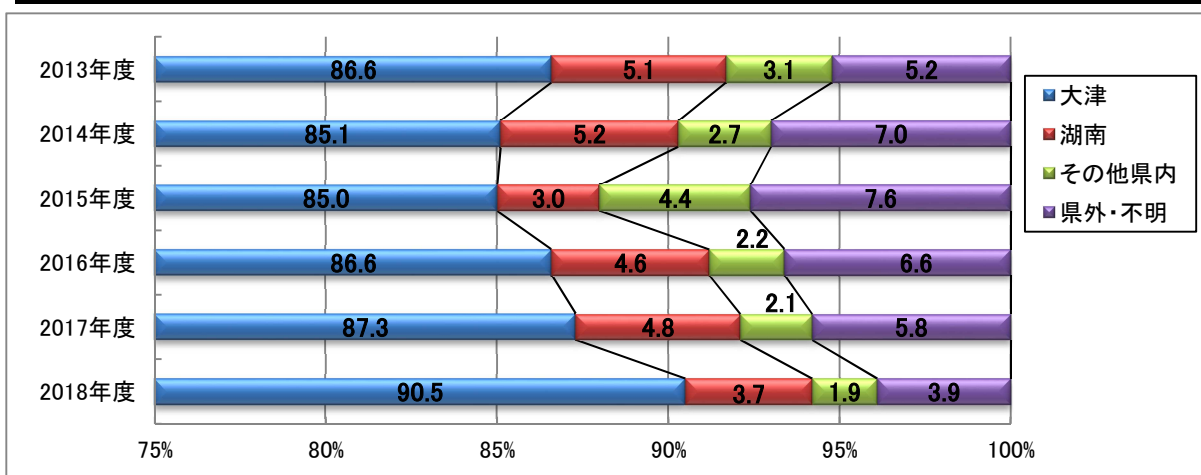
【外来患者数推移(年度別月別)】

外来	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ患者数 上段: 人 下段: % (対前年度同月比)	2018	16,680	17,869	17,449	17,696	18,430	16,037	18,496	17,410	17,395	17,806	16,813	18,206	210,287	17,524
		96.2	98.2	92.7	99.5	96.8	89.3	100.3	97.9	94.8	98.7	95.7	95.3	96.3	
	2017	17,337	18,197	18,824	17,777	19,033	17,957	18,439	17,778	18,356	18,033	17,569	19,101	218,401	18,200
		95.6	102.7	99.9	96.9	98.9	99.5	100.3	97.0	99.9	99.8	100.8	97.7	99.1	
	2016	18,126	17,716	18,836	18,339	19,238	18,041	18,375	18,335	18,377	18,068	17,431	19,557	220,439	18,370
		95.3	98.8	95.1	91.9	101.8	96.9	92.7	99.5	95.2	98.6	92.0	94.9	96.0	
	2015	19,028	17,939	19,815	19,945	18,890	18,612	19,826	18,419	19,304	18,326	18,951	20,618	229,673	19,139
		100.2	94.9	103.6	98.7	99.6	97.1	98.9	105.5	98.3	94.9	107.7	102.3	100.1	
	2014	18,986	18,906	19,133	20,206	18,958	19,171	20,038	17,456	19,634	19,317	17,599	20,153	229,557	19,130
		93.5	91.5	98.8	95.5	92.8	101.5	100.2	93.9	100.8	103.7	96.6	103.3	97.6	
1日平均患者数 上段: 人 下段: % (対前年度同月比)	2018	834	851	831	843	801	891	841	829	916	937	885	910	-	
		96.2	93.5	97.1	94.8	92.6	101.5	95.8	93.3	99.8	98.7	95.7	100.0	-	0.0
	2017	867	910	856	889	865	878	878	889	918	949	925	910	-	895
		95.7	97.6	100.0	96.9	99.0	97.3	95.5	96.9	94.9	99.8	106.1	102.4	-	98.7
	2016	906	932	856	917	874	902	919	917	967	951	872	889	-	907
		100.0	93.5	95.0	101.1	97.1	92.0	97.4	94.6	95.2	98.5	92.0	94.9	-	96.4
	2015	906	997	901	907	900	980	944	969	1,016	965	948	937	-	941
		100.2	105.5	98.9	98.8	99.7	102.2	103.6	99.9	98.4	94.9	102.4	102.3	-	100.0
	2014	904	945	911	918	903	959	911	970	1,033	1,017	926	916	-	941
		93.5	96.0	94.1	95.4	97.2	96.5	100.2	104.4	100.8	103.8	96.7	93.9	-	97.6
新患者数 上段: 人 下段: %	2018	1,782	1,902	1,763	1,953	1,979	1,649	1,794	1,700	1,856	2,412	1,800	1,860	22,450	1,871
		97.4	95.4	87.0	98.3	87.6	86.6	92.5	91.3	90.2	97.3	80.4	94.3	91.5	
	2017	1,829	1,993	2,027	1,986	2,259	1,905	1,939	1,861	2,057	2,479	2,238	1,973	24,546	2,046
		98.2	105.6	97.2	94.3	99.0	101.9	97.0	93.2	97.6	106.0	107.1	92.4	99.1	
	2016	1,863	1,888	2,085	2,106	2,281	1,869	2,000	1,997	2,108	2,339	2,089	2,136	24,761	2,063
		89.6	88.7	96.2	93.3	105.4	85.7	94.7	95.9	98.6	114.3	93.5	89.2	95.3	
	2015	2,080	2,129	2,167	2,257	2,165	2,182	2,113	2,083	2,139	2,046	2,234	2,394	25,989	2,166
		137.2	136.8	101.0	98.6	99.4	108.0	102.8	106.8	89.3	77.9	113.2	111.0	104.5	
	2014	1,516	1,556	2,145	2,290	2,177	2,020	2,056	1,951	2,396	2,626	1,974	2,156	24,863	2,072
		64.7	62.7	93.9	100.4	83.8	98.8	97.0	94.5	115.0	162.1	131.9	140.3	99.6	

【地域構成比年次推移(入院)】

(単位: %)

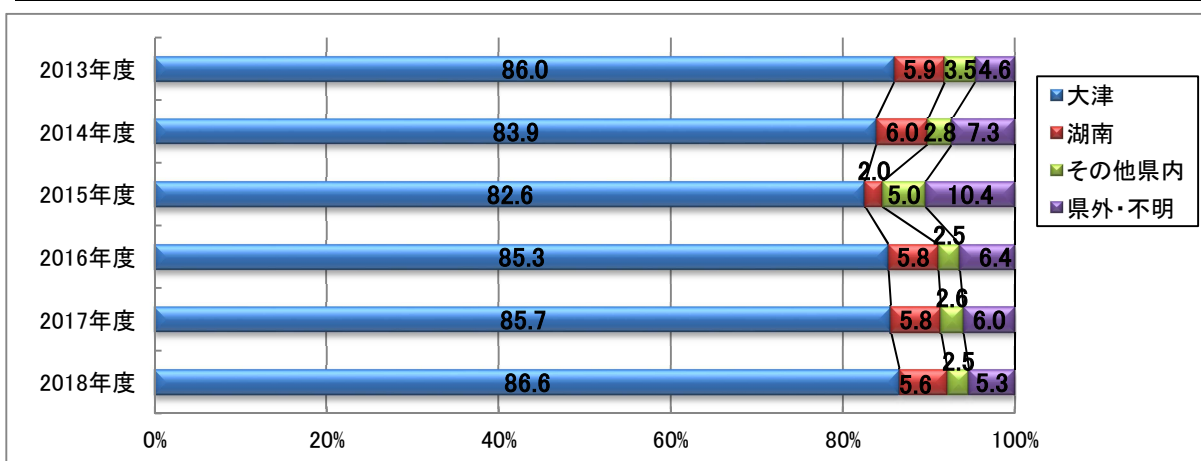
医療圏	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
大津	86.6	85.1	85.0	86.6	87.3	90.5
湖南	5.1	5.2	3.0	4.6	4.8	3.7
その他県内	3.1	2.7	4.4	2.2	2.1	1.9
県外・不明	5.2	7.0	7.6	6.6	5.8	3.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



【地域構成比年次推移(外来)】

(単位: %)

医療圏	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
大津	86.0	83.9	82.6	85.3	85.7	86.6
湖南	5.9	6.0	2.0	5.8	5.8	5.6
その他県内	3.5	2.8	5.0	2.5	2.6	2.5
県外・不明	4.6	7.3	10.4	6.4	6.0	5.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



【年齢階層別入院患者構成比推移】

年齢分類	2016 年度		2017 年度		2018 年度	
	実患者数	割合(%)	実患者数	割合(%)	実患者数	割合(%)
0 歳	578	3.9	573	4.1	429	3.2
1～9 歳	558	3.8	497	3.6	485	3.7
10～19 歳	321	2.2	238	1.7	232	1.8
20～29 歳	618	4.2	500	3.6	462	3.5
30～39 歳	828	5.6	634	4.5	552	4.2
40～49 歳	956	6.5	796	5.7	833	6.3
50～59 歳	1,087	7.4	1,113	8.0	1,082	8.2
60～64 歳	882	6.0	875	6.3	774	5.9
65～69 歳	1,797	12.2	1,573	11.2	1,316	10.0
70～74 歳	1,606	10.9	1,696	12.1	1,592	12.0
75～79 歳	1,776	12.2	1,739	12.3	1,766	13.3
80～84 歳	1,633	11.2	1,707	12.2	1,599	12.0
85～89 歳	1,287	8.8	1,255	9.0	1,243	9.4
90 歳～	752	5.1	799	5.7	853	6.5
合計	14,376	100.0%	13,995	100.0%	13,218	100.0%

【年齢階層別外来患者構成比推移】

年齢分類	2016 年度		2017 年度		2018 年度	
	実患者数	割合(%)	実患者数	割合(%)	実患者数	割合(%)
0 歳	1,332	1.1	1,304	1.0	852	0.7
1～9 歳	6,239	4.9	6,316	5.0	5,610	4.7
10～19 歳	4,952	3.9	4,575	3.7	4,309	3.6
20～29 歳	5,574	4.4	5,449	4.4	5,201	4.3
30～39 歳	8,105	6.4	7,711	6.2	6,897	5.7
40～49 歳	13,914	11.0	13,618	10.9	12,893	10.7
50～59 歳	14,655	11.6	14,750	11.8	14,949	12.4
60～64 歳	9,219	7.3	8,675	6.9	8,326	6.9
65～69 歳	16,133	12.8	15,038	12.0	13,141	10.9
70～74 歳	14,424	11.5	14,749	11.8	15,381	12.7
75～79 歳	13,552	10.7	13,909	11.1	14,323	11.9
80～84 歳	10,865	8.6	11,027	8.8	10,584	8.8
85～89 歳	5,493	4.3	5,830	4.7	5,935	4.9
90 歳～	1,959	1.5	2,142	1.7	2,189	1.8
合計	126,416	100.0%	125,093	100.0%	120,590	100.0%

【手術件数年次推移】

(単位:人)

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
患 者 数	3,816	4,155	3,970	4,027	3,888	3,635

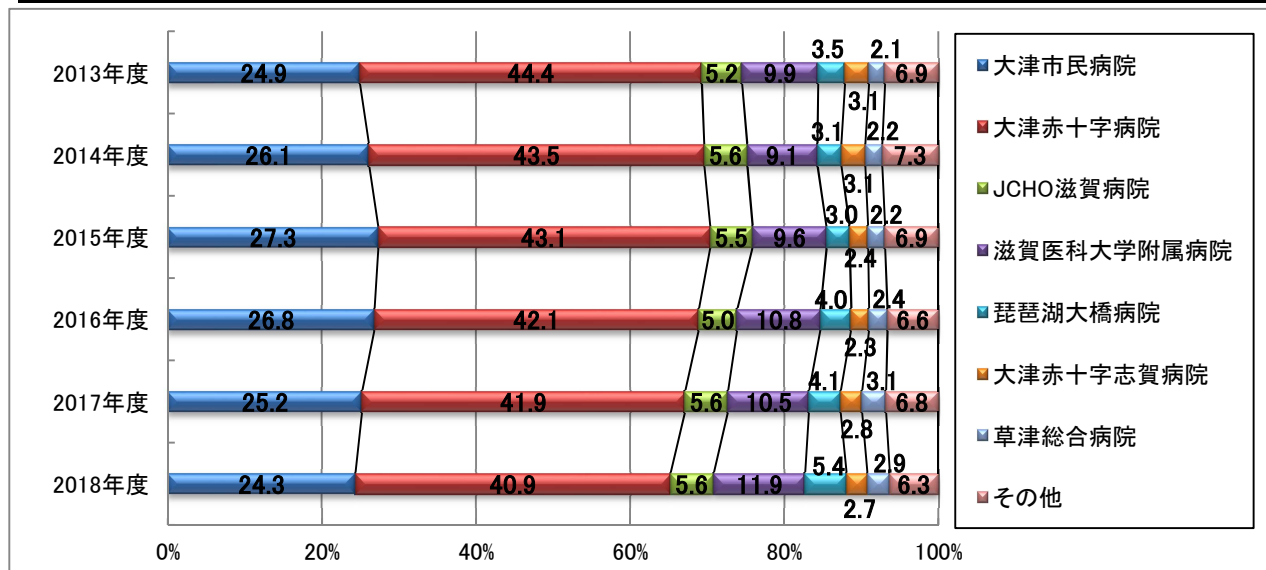
【救急患者数年次推移】

(単位:人)

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
患 者 数	19,728	20,031	19,450	19,034	18,918	17,664
うち入院	2,674	2,838	2,992	3,114	2,886	2,778
うち外来	17,054	17,193	16,458	15,920	16,032	14,886
救急車搬送数	3,694	3,933	4,068	4,203	4,097	3,915

【大津市消防局医療機関別搬送人員割合年次推移】

医療機関	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	人員(人)
大津市民病院	24.9	26.1	27.3	26.8	25.2	24.3	3,936
大津赤十字病院	44.4	43.5	43.1	42.1	41.9	40.9	6,637
JCHO 滋賀病院	5.2	5.6	5.5	5.0	5.6	5.6	916
滋賀医科大学附属病院	9.9	9.1	9.6	10.8	10.5	11.9	1,935
琵琶湖大橋病院	3.5	3.1	3.0	4.0	4.1	5.4	875
大津赤十字志賀病院	3.1	3.1	2.4	2.3	2.8	2.7	436
草津総合病院	2.1	2.2	2.2	2.4	3.1	2.9	463
その他	6.9	7.3	6.9	6.6	6.8	6.3	1,031
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	16,229

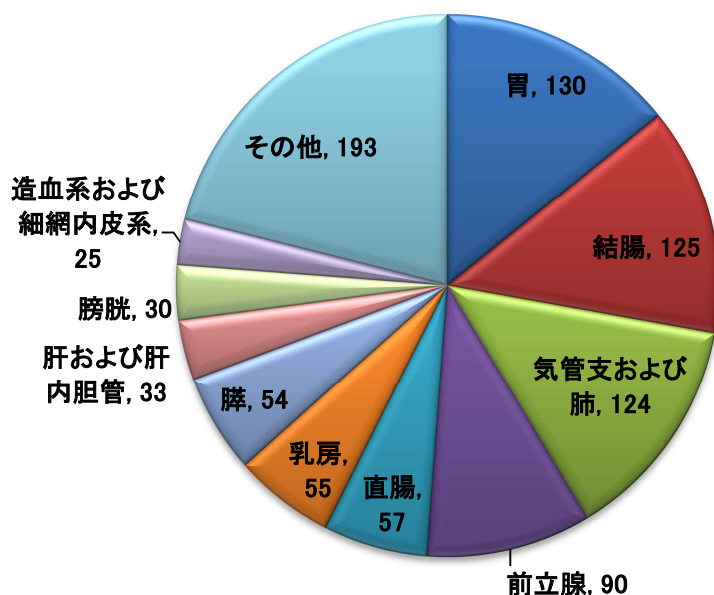


【2017 年院内がん登録統計】

対象:2017 年 1 月～12 月に初診された「がん」

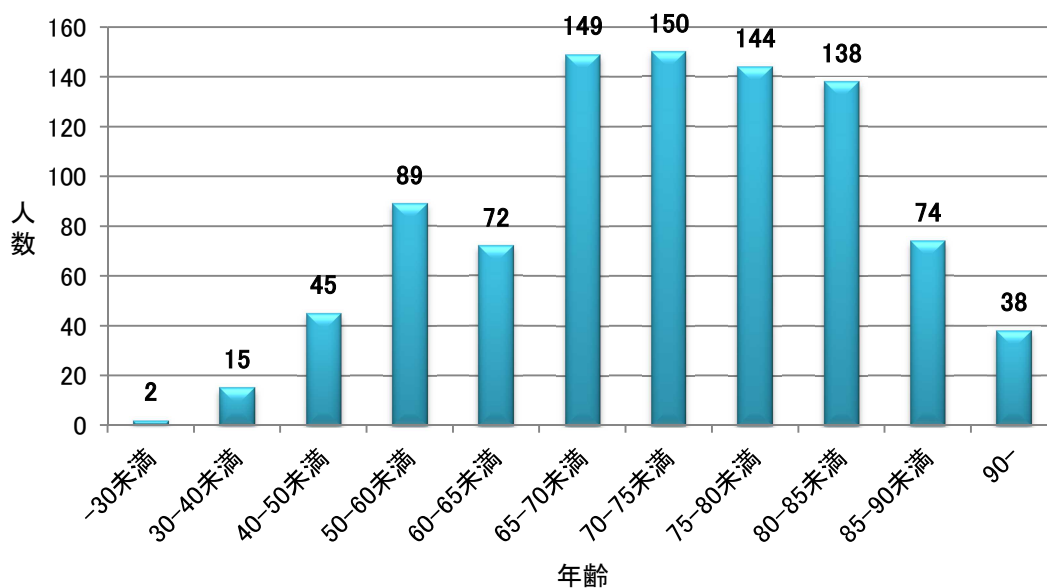
＜部位(中分類)別上位 10＞

	部位	件数	割合
1	胃	130	14.2
2	結腸	125	13.6
3	気管支および肺	124	13.5
4	前立腺	90	9.8
5	直腸	57	6.2
6	乳房	55	6.0
7	膵	54	5.9
8	肝および肝内胆管	33	3.6
9	膀胱	30	3.3
10	造血系および細網内皮系	25	2.7
	その他	193	21.2
合計		916	100.0



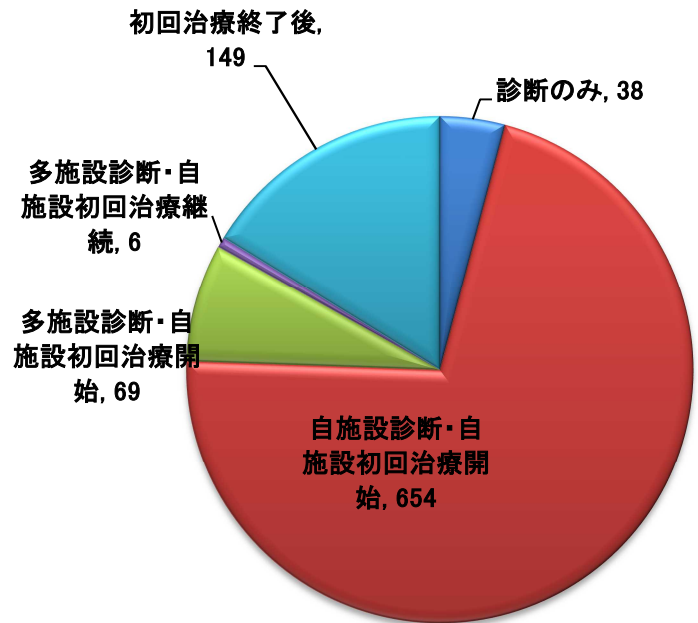
＜年齢階層別＞

年齢	-30未満	30-40未満	40-50未満	50-60未満	60-65未満	65-70未満	70-75未満	75-80未満	80-85未満	85-90未満	90以上	合計	平均年齢
人数	2	15	45	89	72	149	150	144	138	74	38	916	71.1
割合	0.2	1.6	4.9	9.7	7.9	16.3	16.4	15.7	15.1	8.1	4.1	100.0	



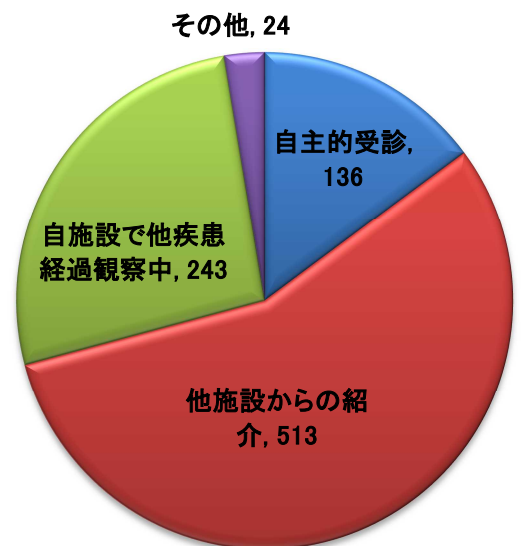
＜症例区分別＞

症例区分	件数	割合
診 断 の み	38	4.1
自施設診断・自施設 初 回 治 療 開 始	654	71.4
多施設診断・自施設 初 回 治 療 開 始	69	7.5
多施設診断・自施設 初 回 治 療 継 続	6	0.7
初回治療終了後	149	16.3
合 計	916	100.0



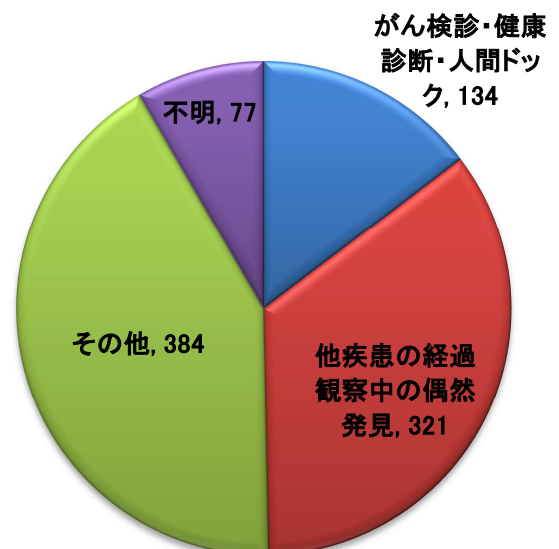
＜来院経路別＞

来院経路	件数	割合
自 主 的 受 診	136	14.8
他施設からの紹介	513	56.0
自施設で他疾患 経 過 観 察 中	243	26.5
そ の 他	24	2.6
不 明	-	-
合 計	916	100.0



＜発見経緯別＞

来院経路	件数	割合
がん検診・健康 診断・人間ドック	134	14.6
他疾患の経過観察 中の偶然発見	321	35.0
剖 検 発 見 (Ai を 含 む)	-	-
そ の 他	384	41.9
不 明	77	8.4
合 計	916	100.0



クオリティ・インディケーター

当院は、2013 年度から一般社団法人日本病院会のQI(クオリティ・インディケーター)プロジェクトに参加しています。QIは医療の質を表す指標で、病院経営の根幹を成すものです。経時的にQIを測定し、医療を透明化・可視化することで自院の立ち位置を知ることができます。

また、当院ではQIプロジェクトの指標の他にも、独自の指標(下表「医療実績」)を設けています。

これらの指標を観察・分析し、ISO9001 のPDCAサイクルをまわすことで、常に医療の質向上、バージョンアップに努めています。

2018 年度 医療実績

項 目	2018 年度	2017 年度	前年同期比較
平均在院日数	12.6 日	11.9 日	0.7 日
一般病床利用率 (一般病床数) 2017 年度:4~6 月:437 床、7 月~:433 床 2018 年度:4~10 月:433 床、431 床	87.9%	88.4%	△0.5%
紹介率*	65.2%	54.0%	11.2%
逆紹介率*	94.4%	86.2%	8.2%
手術件数	3,635 件	3,888 件	△253 件
救急ストップ時間 (うち、小児救急ストップ時間)	436 時間 (0 時間)	317 時間 (0 時間)	119 時間 (-)
人間ドック受診者数	3,442 人	3,463 人	△21 人
入院患者満足度**	92.9%	93.2%	△0.3%
外来患者満足度**	83.2%	82.9%	0.3%

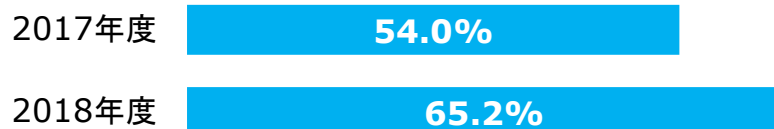
* QIプロジェクトの指標にも含まれる。

** 「この病院について総合的には満足している」という質問に対し、5 段階評価で「非常にそう思う」、「ややそう思う」と回答した割合を掲載(患者本人および患者家族回答分を対象としているため、QIプロジェクトの患者満足度とは合致しない)。

2018 年度 QIプロジェクト実績(一般病床向け指標)

病 院 全 体

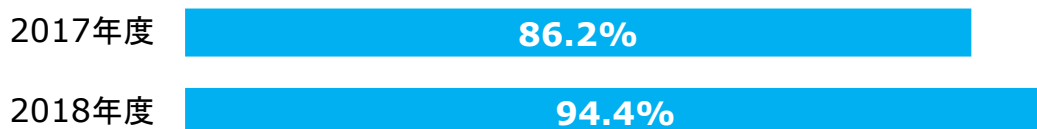
◆紹介率



分子 : 紹介初診患者数

分母 : 初診患者数-(休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数+休日・夜間の初診救急患者数)

◆逆紹介率



分子 : 逆紹介患者数

分母 : 初診患者数-(休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数+休日・夜間の初診救急患者数)

◆退院後 6 週間以内の救急医療入院率



患者の中には、退院後 6 週間以内に予定外の再入院をする人もいます。背景としては、初回入院時の治療が十分でなかったことや、患者の回復が不完全な状態での退院などの要因が考えられます。

分子 : 前回の退院日が 42 日以内の救急医療入院患者数

分母 : 退院患者数

◆死亡退院患者率

2017年度  2.4%

2018年度  2.5%

この数値については解釈に注意が必要です。その医療施設の特徴(職員数、病床数、救命救急センターやICUの有無、平均在院日数、地域特性など)や、入院患者のプロフィール(年齢、性別、疾患の種類・重症度など)が異なるため、この数値から直接医療の質を比較することは適切ではありません。

分子 : 死亡退院患者数

分母 : 退院患者数

◆職員におけるインフルエンザワクチン予防接種率(2018年度新規項目)

2017年度

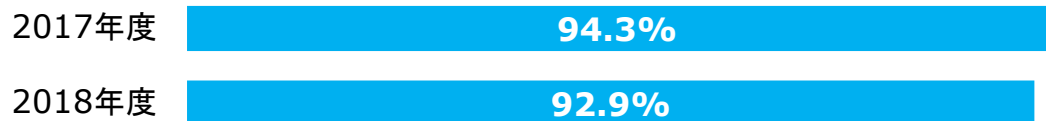
2018年度  92.4%

分子 : インフルエンザワクチンを予防接種した職員数

分母 : 職員数

患者満足

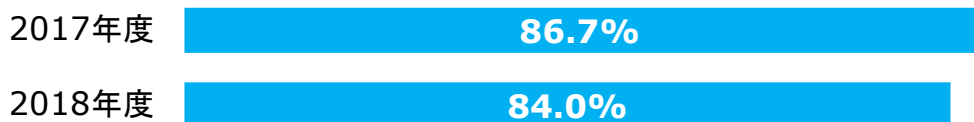
◆入院患者満足度



分子：「この病院について総合的には満足している」の設問に「非常にそう思う」、「ややそう思う」と回答した入院患者数

分母：患者満足度調査に回答した入院患者数

◆外来患者満足度

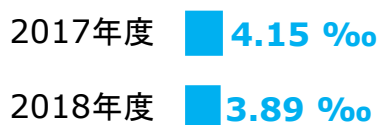


分子：「この病院について総合的には満足している」の設問に「非常にそう思う」、「ややそう思う」と回答した外来患者数

分母：患者満足度調査に回答した外来患者数

医療安全・感染

◆入院患者の転倒・転落発生率



患者に傷害が発生した事例はもちろん、傷害が発生しなかった事例も含めて、転倒・転落の原因や要因を分析することに意味があります。要因を特定し、分析した結果から明らかになった予防策を実施することが、傷害の予防に繋がります。

分子：医療の質・安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数

分母：入院延べ患者数

◆入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 2 以上)

2017年度 | 0.49 ‰

2018年度 | 0.45 ‰

分子 : 医療の質・安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル 2 以上の件数

分母 : 入院延べ患者数

◆入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 4 以上)

2017年度 | 0.06 ‰

2018年度 | 0.05 ‰

分子 : 医療の質・安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル 4 以上の件数

分母 : 入院延べ患者数

< 損 傷 レ ベ ル >		
1	な し	患者に損傷はなかった
2	軽 度	包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
3	中軽度	縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
4	重 度	手術、ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷の診察が必要となった
5	死 亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
6	U T D	記録からは判定不可能

◆1 か月間・100 床当たりのインシデント・アクシデント発生件数(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 | 21.4件

分子 : 調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント発生件数 × 100

分母 : 許可病床数

◆全報告中医師による報告の占める割合(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度  3.6%

分子：分母のうち医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数

分母：調査期間中のインシデント・アクシデント報告総件数

◆褥瘡発生率

2017年度  0.11%

2018年度  0.12%

褥瘡は患者のQOL(生活の質)低下をきたすとともに、治癒が長期に及ぶことで在院日数の長期化や医療費の増大にも繋がるため、看護ケアの質評価において、重要な指標の一つとしてとらえられています。1998 年からは診療報酬にも反映されるようになりました。

分子：調査期間における分母対象患者のうち、d2 以上の褥瘡の院内新規発生患者数

分母：入院延べ患者数

< 深 さ >	
d0	皮膚損傷・発赤なし
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮膚組織までの損傷
D4	皮膚組織をこえる損傷
D5	関節腔、体腔に至る損傷
DU	深さ判定が不能の場合

◆広域抗菌薬使用時の血液培養実施率(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度  45.6%

入院患者に広域抗菌薬を投与する際は、その患者の血液培養を実施することが望ましいとされています。

分子：投与開始初日に血液培養検査を実施した数

分母：広域抗菌薬投与を開始した入院患者数

◆血液培養実施時の 2 セット実施率 (2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **88.3%**

血液培養は、1 セットのみの場合の偽陽性による過剰治療を防ぐため、同日に 2 セット以上行うことが推奨されています。

分子：血液培養オーダーが 1 日に 2 件以上ある日数

分母：血液培養オーダー日数

手術・処置

◆特定術式における手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率

2017年度 **100.0%**

2018年度 **100.0%**

手術開始前 1 時間以内に適切な抗菌薬を静脈注射することで、手術部位感染 (SSI) を予防し、入院期間の延長や医療費の増大を抑えることができます。

分子：手術開始前 1 時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数

分母：特定術式の手術件数

◆特定術式における術後 24 時間 (心臓手術は 48 時間) 以内の予防的抗菌薬投与停止率

2017年度 **11.0%**

2018年度 **9.6%**

手術前後の抗菌薬投与で手術部位感染 (SSI) が予防できる可能性が高くなりますが、不必要に長期間投与することは、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大に繋がります。

分子：術後 24 時間以内に予防的抗菌薬投与が停止された手術件数 (冠動脈バイパス手術またはその他の心臓手術の場合 48 時間以内)

分母：特定術式の手術件数

◆冠動脈バイパス手術における術後 48 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率

(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **30.8%**

手術前後の抗菌薬投与で手術部位感染 (SSI) が予防できる可能性が高くなりますが、不必要に長期間投与することは、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大に繋がります。

分子 : 術後 2 日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母 : 入院手術件数 (冠動脈バイパス手術)

◆その他の心臓手術における術後 48 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率

(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **33.3%**

手術前後の抗菌薬投与で手術部位感染 (SSI) が予防できる可能性が高くなりますが、不必要に長期間投与することは、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大に繋がります。

分子 : 術後 2 日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母 : 入院手術件数 (他の心臓手術)

◆股関節置換術における術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率

(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **0.0%**

手術前後の抗菌薬投与で手術部位感染 (SSI) が予防できる可能性が高くなりますが、不必要に長期間投与することは、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大に繋がります。

分子 : 手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母 : 入院手術件数 (股関節人工骨頭置換術)

◆膝関節置換術における術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率

(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **0.0%**

手術前後の抗菌薬投与で手術部位感染 (SSI) が予防できる可能性が高くなりますが、不必要に長期間投与することは、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大に繋がります。

分子 : 手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母 : 入院手術件数 (膝関節置換術)

◆血管手術における術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率

(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **5.0%**

手術前後の抗菌薬投与で手術部位感染 (SSI) が予防できる可能性が高くなりますが、不必要に長期間投与することは、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大に繋がります。

分子 : 手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母 : 入院手術件数 (血管手術)

◆大腸手術における術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率

(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **1.3%**

手術前後の抗菌薬投与で手術部位感染 (SSI) が予防できる可能性が高くなりますが、不必要に長期間投与することは、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大に繋がります。

分子 : 手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母 : 入院手術件数 (大腸手術)

◆子宮全摘除術における術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率

(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **0.0%**

手術前後の抗菌薬投与で手術部位感染 (SSI) が予防できる可能性が高くなりますが、不必要に長期間投与することは、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大に繋がります。

分子：手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母：入院手術件数 (子宮全摘除術)

◆特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

2017年度 **78.5%**

2018年度 **74.5%**

予防的抗菌薬は、術中に細菌感染が起こることを予防することが目的です。そのため、術式により感染の可能性がある細菌 (皮膚の常在菌や消化管内の細菌等) がある程度想定されるため、推奨抗菌薬が定められています。

分子：術式ごとに適切な予防的抗菌薬が選択された手術件数

分母：特定術式の手術件数

◆尿道留置カテーテル使用率

2017年度 **19.0%**

2018年度 **17.2%**

尿路感染症は医療関連感染の約 40% を占めており、そのうち 66～86% が尿道留置カテーテルなどの器具が原因とされています。一般的には重症化することなく無症状で経過することがほとんどですが、まれに膀胱炎、腎盂炎、敗血症に至ることがあるため、適切に管理することが重要です。

分子：尿道留置カテーテルが挿入されている入院延べ患者数

分母：入院延べ患者数

◆症候性尿路感染症発生率

2017年度  1.5 ‰

2018年度  2.3 ‰

尿路感染症は医療関連感染の約 40%を占めており、そのうち 66～86%が尿道留置カテーテルなどの器具が原因とされています。尿路感染症予防対策として、尿道留置カテーテルの適性使用・管理・早期抜去が重要となります。

分子：分母のうちカテーテル関連症候性尿路感染症の定義に合致した延べ回数

分母：入院患者における尿道留置カテーテル挿入延べ日数

◆統合指標(手術)

2017年度  63.2%

2018年度  61.4%

関連する下記 3 指標群のバンドル準拠率を示しています。

- ・特定術式における手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率
- ・特定術式における術後 24 時間以内(心臓手術は 48 時間以内)の予防的抗菌薬投与停止率
- ・特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

呼吸器系

◆喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合

2017年度  87.0%

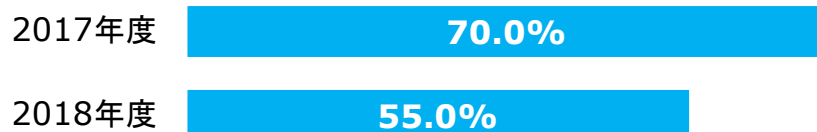
2018年度  80.0%

ガイドラインに沿った標準的治療の有無を見る指標であり、慢性期の中心的管理方法です。

分子：入院中に吸入ステロイド薬の処方を受けた患者数

分母：5 歳以上の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した患者数

◆入院中にステロイドの経口・静注処方をされた小児喘息患者の割合

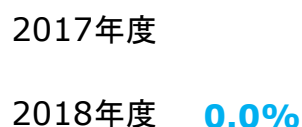


喘息発作の症状を素早く軽快し、重症度を下げるためにガイドラインで推奨されています。

分子：入院中にステロイドの全身投与（静注・経口）を受けた患者数

分母：2～15歳の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した患者数

◆中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸発生率（2018年度新規項目）



この割合が高い場合は、再発予防に向けた安全管理の取り組みを見直す契機となります。

分子：入院後医原性気胸が発生した患者数

分母：中心静脈カテーテルが挿入された患者数

◆誤嚥性肺炎に対する喉頭ファイバースコープまたは嚥下造影検査実施率 （2018年度新規項目）



誤嚥性肺炎の多くは嚥下障害によって引き起こされます。患者の嚥下機能を評価することで、適切な治療やリハビリテーション、訓練などにつなげることができます。

分子：分母のうち、「D299 喉頭ファイバースコープ」または「E0037 造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数

分母：誤嚥性肺炎患者数

◆手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **96.2%**

周術期の患者への肺血栓塞栓症の予防措置の実施は、発生率を下げるにつながります。

分子：肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数

分母：肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

◆手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **0.2%**

肺血栓塞栓症は、加齢、肥満や妊娠、悪性腫瘍、寝たきりなど、周術期以外にも危険因子があり、ガイドライン通りに予防措置を実施しても完全に予防できるわけではありませんが、予防行為を行わなければ、発症率が高まります。

分子：肺血栓塞栓症を発症した患者数

分母：肺血栓塞栓症発症リスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

脳・神経系

◆脳卒中患者のうち第2病日までに抗血栓療法を受けた患者の割合

2017年度 **64.4%**

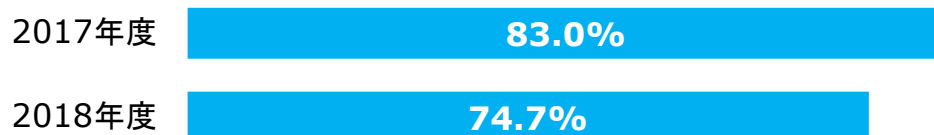
2018年度 **65.8%**

脳梗塞の治療に際しては、入院第2病日までに抗血栓療法を開始することが推奨されています。

分子：第2病日までに抗血栓療法を施行された患者数

分母：脳梗塞かTIAと診断された18歳以上の入院患者数

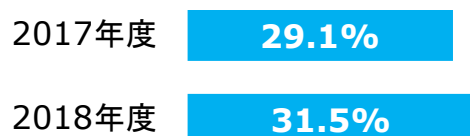
◆脳卒中患者のうち退院時抗血小板薬を処方した割合



再発予防の観点から、脳梗塞発症早期から抗血小板治療を行う有用性が明らかとなっていますので、適応する患者には退院時に抗血小板薬の投与が開始されていることが望ましいと言えます。

分子：退院時に抗血小板薬を処方された患者数
分母：脳梗塞か TIA と診断された 18 歳以上の入院患者数

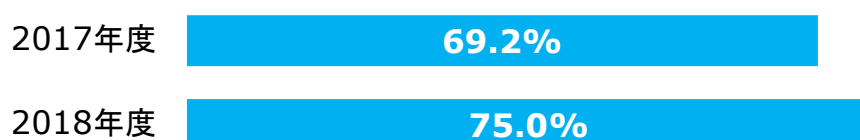
◆脳卒中患者のうち退院時スタチンを処方した割合



LDL コレステロールを低下させるほど、脳卒中の発症率、死亡率が下がるという研究報告があります。海外の臨床試験（SPARCL）では高用量のスタチン製剤による脳卒中の再発抑制が示され、動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012 年版ではスタチンによる脳梗塞発症の予防を、「推奨レベル 1、エビデンスレベル A（最も良質なエビデンスがあると認めた、最高の推奨度レベル）」としています。

分子：退院時にスタチンが処方された患者数
分母：脳梗塞で入院した患者数

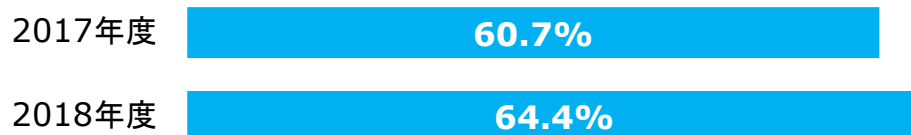
◆心房細動を伴う脳卒中患者への退院時の抗凝固薬処方割合



心房細動を合併する脳梗塞の再発予防の観点から、抗凝固薬を用いた治療が有効とされています。適応する患者には退院時に抗凝固剤の投与が開始されていることが望ましいと言えます。

分子：退院時に抗凝固薬を処方された患者数
分母：脳梗塞か TIA と診断され、かつ心房細動と診断された 18 歳以上の入院患者数

◆脳梗塞における入院後早期リハビリ実施症例の割合

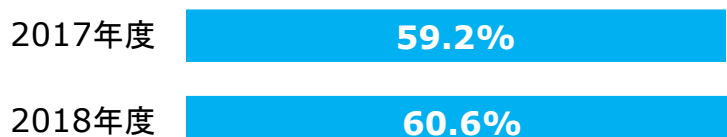


入院後、できるだけ早期にリハビリを開始することが ADL(日常生活動作)や QOL(生活の質)の早期回復と低下抑制に繋がります。

分子：入院後早期に脳血管リハビリテーションが行われた患者数

分母：脳梗塞で入院した患者数

◆統合指標(脳卒中)



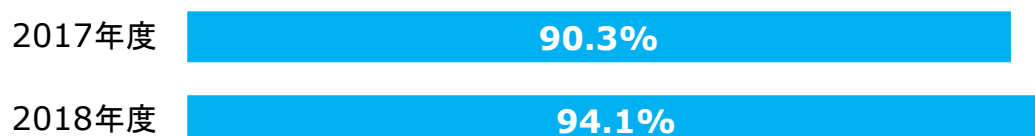
関連する下記 5 指標群のバンドル準拠率を示しています。

- ・脳卒中患者のうち第 2 病日までに抗血小板療法を受けた患者の割合
- ・脳卒中患者のうち退院時抗血小板薬処方割合
- ・脳卒中患者の退院時スタチン処方割合
- ・心房細動を伴う脳卒中患者への退院時抗凝固薬処方割合
- ・脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者割合

心 臓 血 管 系

急性心筋梗塞においては、抗血小板薬、β ブロッカー、ACE 阻害剤あるいはアンギオテンシンⅡ 受容体阻害剤 (ARB)、スタチンなどが心筋梗塞発症後の長期予後改善や二次予防を目的とした退院時処方に推奨されています。二次予防に必須とされる薬物を退院時に処方する割合が高い方が望ましいと言えます。

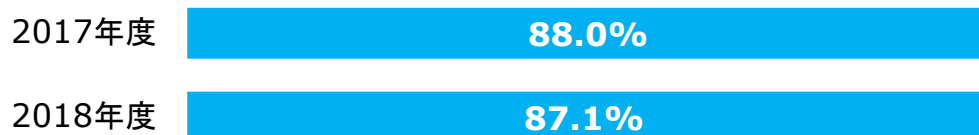
◆急性心筋梗塞患者における入院時早期アスピリン投与割合



分子：入院後 2 日以内にアスピリンが投与された患者数

分母：急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合



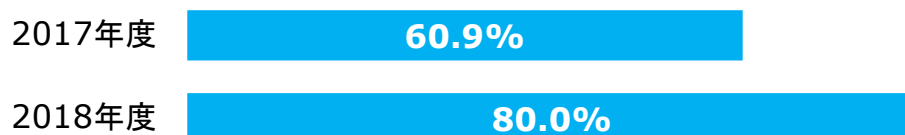
分子 : 退院時にアスピリンが投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者における退院時抗血小板薬投与割合 (2018 年度新規項目)



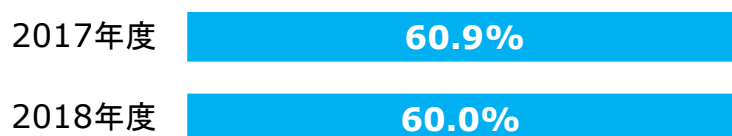
分子 : 退院時に抗血小板薬が投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者における退院時βブロッカー投与割合



分子 : 退院時にβブロッカーが投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合



分子 : 退院時にスタチンが投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者における退院時の ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤の投与割合

2017年度 69.6%

2018年度 66.7%

分子 : 退院時に ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤が投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者における ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤の投与割合

2017年度 71.0%

2018年度 64.7%

分子 : ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤が投与された患者数
分母 : 急性心筋梗塞で入院した患者数

◆急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内の初回 PCI 実施割合

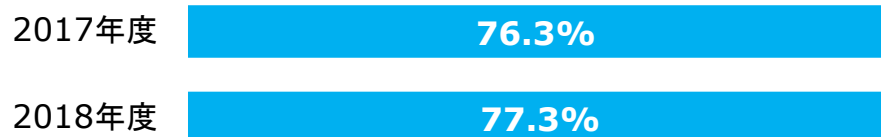
2017年度 81.5%

2018年度 71.4%

急性心筋梗塞では、医療機関到着から PCI 開始までの時間 (door-to-balloon 時間と呼ばれます) が延びるほど予後が悪くなると報告されています。ガイドラインでは医療機関受診後 90 分以内にカテーテル治療を行うことを求めており、診断からスタッフや検査室の準備、再灌流達成までの複合的な時間を短縮する必要があります。

分子 : 来院後 90 分以内に手技を受けた患者数
分母 : 18 歳以上の急性心筋梗塞で PCI を受けた患者数

◆統合指標(虚血性心疾患)

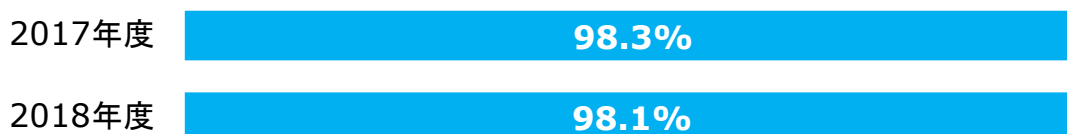


関連する下記 7 指標群のバンドル準拠率を示しています。

- ・急性心筋梗塞患者における入院時早期アスピリン投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における退院時 β ブロッカー投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における退院時 ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤投与割合
- ・急性心筋梗塞患者における ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II 受容体阻害剤の投与割合
- ・急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内の PCI 実施割合

救 急

◆救急車・ホットラインの応需率



分子 : 救急車で来院した患者数
分母 : 救急車受け入れ要請件数

薬 剤 ・ 栄 養

◆薬剤管理指導実施率(2018 年度新規項目)



薬学的指導が必要な入院患者に対する薬剤師の指導は、医療改善につながるとされています。

分子 : 薬剤管理指導を受けた患者数
分母 : 入院患者数

◆安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **66.3%**

薬剤師の服薬指導により、患者が薬物療法に対する安全性や有用性を知ること、患者自身が治療方針の決定に参加し、納得して治療を受けることにつながると考えられています。

分子：薬剤管理指導料が算定された患者数

分母：特に安全管理が必要な医薬品として定められた医薬品が投薬または注射されている患者数

◆糖尿病・慢性腎臓病患者への栄養管理実施率(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **52.4%**

糖尿病や慢性腎臓病を併存症に持つ患者への積極的な栄養管理介入は、治療改善につながると考えられています。

分子：特別食加算の算定回数

分母：18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的ではない入院患者の食事回数

地域連携パス

◆脳卒中患者に対する地域連携パスの使用率(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度 **22.1%**

脳卒中の治療が終了した後も、地域医療全体で継続的な医学的管理とリハビリテーションを患者に提供することが重要です。

分子：「地域連携診療計画加算」を算定した患者数

分母：脳卒中で入院した患者数

◆大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率(2018 年度新規項目)

2017年度

2018年度

69.4%

急性期における治療が終了した後も、地域医療全体で継続的な医学的管理とリハビリテーションを患者に提供することが重要です。

分子 : 「地域連携資料計画加算」を算定した患者数

分母 : 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数